

# 第5章

---

## 地域別構想

# 第5章

## 地域別構想

地域別構想は、まちづくりの基本方針や全体構想を踏まえ、地域ごとの特性や課題に対応したまちづくりの方針を示します。各地域の現況や位置づけに加え、市民アンケートの結果や、市民ワークショップ「ワンだフル！おおだて」から得られた意見を参考とし、地域別の将来像を次のとおりとします。

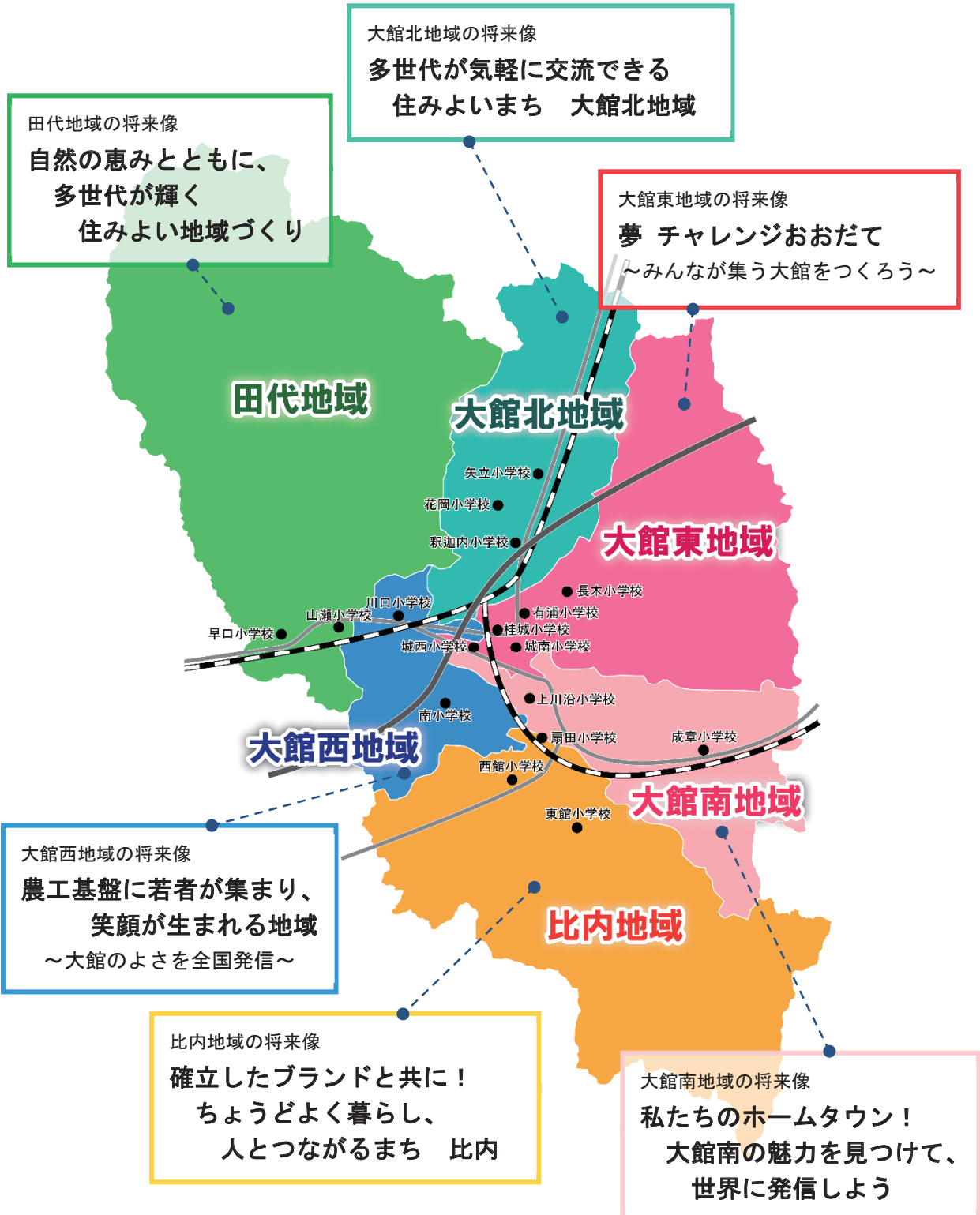


図 地域別の将来像

## 5-1 大館東地域

## (1) 地域の現況

地域の概要	
面積	144.84km <sup>2</sup> 市全体の16%
人口	32,786人、市全体の44% ※2015(平成27)年国勢調査
世帯数	13,822世帯、市全体の49% ※2015(平成27)年国勢調査
15年間の人口増減	2,868人の減少(8%減) 2000(平成12)年35,654人から 2015(平成27)年32,786人へ ※国勢調査



地域を代表する主な施設等	
施設等	市役所、総合福祉センター、大館市民文化会館、市立中央公民館、栗盛記念図書館、城西体育館、樹海体育館、大館樹海ドーム、秋田犬会館、消防本部、大館市斎場、地域包括支援センター水交苑・かつら、北地区コミュニティセンター、保健センター、大館八幡神社、桜櫓館、法務局
駅	大館駅(JR奥羽本線・JR花輪線)、東大館駅(JR花輪線)
医療施設	大館市立総合病院、休日夜間急患センター、大館記念病院
学校	桂城小学校、城南小学校、城西小学校、有浦小学校、長木小学校、第一中学校、東中学校、県立大館鳳鳴高等学校、県立大館鳳鳴高等学校桜櫓館、秋田看護福祉大学、秋田職業能力開発短期大学校
工業団地	—
公園緑地	桂城公園、長根山運動公園、大館運動公園、長木川河川緑地、小柄沢墓地公園
景観	鳳凰山、岩神ふれあいの森、長木川溪流

大館東地域は、市東部に位置し、北に青森県、東側が鹿角市や小坂町に隣接する地域です。面積は144.84km<sup>2</sup>で、市全体の16%を占めています。

東部から西部には一級河川である米代川の支流である長木川が流れ、西南部や、東南部の川沿いに平地がみられ、その他の地域はほとんどが山地となっています。西南部の平地は用途地域に指定されており、長木川を挟んで南北に市街地を形成しています。

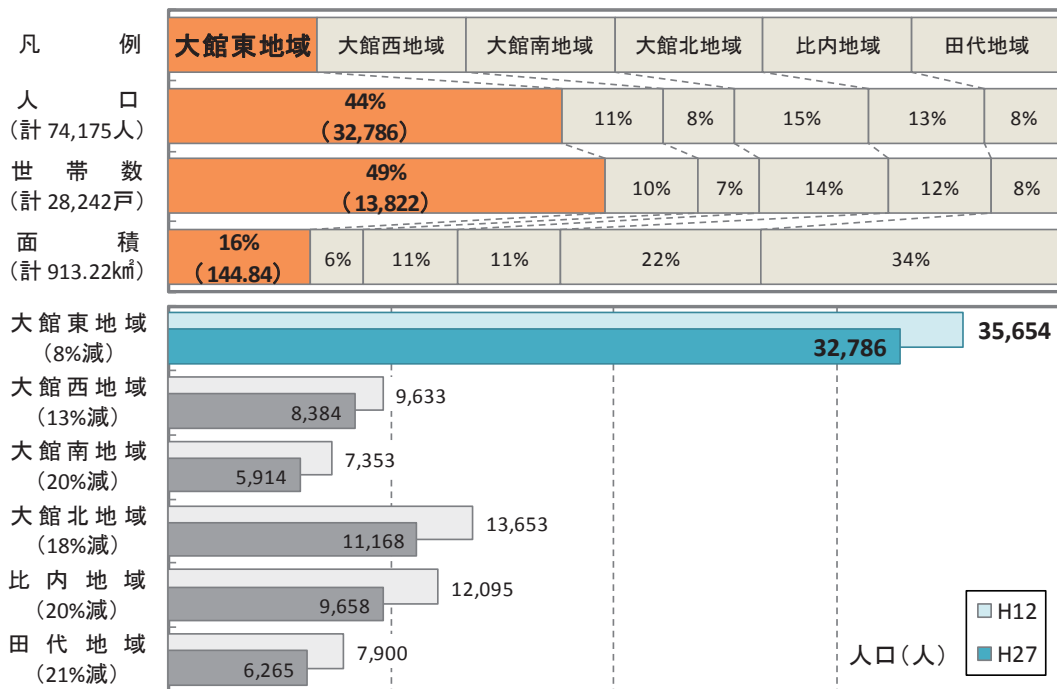
中心市街地には、市役所をはじめとする官公庁等の施設、保健福祉施設、文化スポーツ施設、医療施設等、都市サービス機能が集積しています。歴史的風致維持向上計画に基づく取り組みや、本市を代表する祭りが行われ、市の中心地として機能しています。

### 【土地利用】

- 長木川左岸側の台地は藩政時代の城下町を前身とする市街地で、これまで度重なる大火に見舞われ、土地区画整理事業等の都市基盤整備が進められてきました。
- 大館駅周辺と大町周辺をつなぐように中心市街地が形成されており、商業施設をはじめ、官公庁施設等が集積していますが、中心市街地としての活力を失いつつあります。
- 西部の国道7号沿道は、郊外型商業施設が集積する沿道型商業地として利用されています。
- 住宅地は商業地等を取り巻くように形成され、既存住宅地の中には、住宅が密集して狭あい道路が複雑に入り組んだところもあります。近年では空き地、空き家もみられます。
- 大田面地区を中心に大型商業施設が立地し、その周辺の宅地化も進む等、市街化が進行しています。
- 東部の山地は国有林等の森林となっており、長木川沿いの平地が農用地として利用され、集落が点在しています。

### 【人口・世帯】

- 人口 32,786 人で本市の 44%、世帯数 13,822 世帯で本市の 49%を占めており、本市の中で最も多い人口・世帯規模となっています。1世帯当たりの人員は2.4人となっています。
- 2000（平成12）年からの人口減少率は8%であり、約2,900人減少しています。



資料：人口・世帯…2000（平成12）年、2015（平成27）年 国勢調査  
 面積…2014（平成26）年10月1日 GIS・国土の情報（全国都道府市区町村の面積）  
 ※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

**【文化・風景・特産物】**

- 歴史的風致維持向上計画の重点区域に指定され、歴まち散歩が行われる等、大館城跡の歴史や文化を活かしたまちなみ景観づくりを進めています。
- 国指定重要文化財の大館八幡神社本殿や、国登録有形文化財の桜櫓館が立地しています。
- 国指定天然記念物のニホンザリガニ南限生息地等があります。
- 忠犬ハチ公や、国指定天然記念物秋田犬のゆかりの地であることから、犬種博物館として秋田犬会館が立地しています。
- 鳳凰山（大文字）等の山地や河川に代表される優れた自然があり、白鳥が飛来する長木川は身近な自然として地域住民に親しまれています。
- 茂内屋敷地域は優れた農村景観を維持している地域として、「守りたい秋田の里地里山50」に認定されています。

**【観光レクリエーション】**

- 世界的に注目が集まる秋田犬を活かし、大館駅近くに観光交流施設として秋田犬の里の整備が進められています。
- 桂城公園、岩神ふれあいの森等といった桜の名所のほか、大館アメッコ市や大館神明社例祭、大館大文字まつり等、伝統行事の開催地となっており、多くの観光客が訪れています。
- 長木川はレクリエーションの場として、また、上流は溪流釣りの場として広く市民に親しまれています。

**【主要公共施設】**

- 中心市街地には市役所をはじめとする官公庁等の施設、保健福祉施設、文化スポーツ施設、医療施設等が集積し、大学や高等学校等の文教施設が多く立地しており、都市サービス機能が充実しています。
- 民間資本を活用した大町の再開発として、民間の店舗・住宅と一体となった大町借上住宅が完成し、市営住宅の向町住宅・新町住宅・中町住宅を建替えました。
- 長木川河川緑地や桂城公園、長根山運動公園、大館樹海ドーム等が立地しています。

**【交通基盤】**

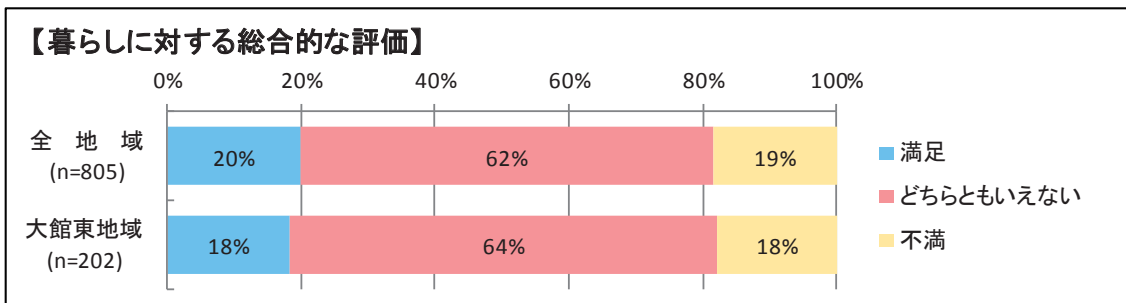
- JR奥羽本線・JR花輪線の大館駅、JR花輪線の東大館駅が立地しています。
- 市街地の国道7号を中心に、東部の小坂町と連結する（主）大館十和田湖線（樹海ライン）や、大館西地域・北秋田市と連結する（一）大館鷹巣線、大館南地域・比内地域・鹿角市と連結する旧国道103号が、自動車交通の骨格を形成しています。
- 有浦東台線の整備事業が完了し、バリアフリーの歩道を整備しました。
- （主）大館十和田湖線の広幅員歩道と観音堂地区の交差点改良が完了しました。
- 地域内の都市計画道路は、整備率が低くなっています。

### 【まちづくり活動】

- 土地区画整理事業に向けて、御成町南地区活性化協議会が「通り再生プログラム事業」によるまちづくり活動を行いました。
- おおだて飲食店マップを製作し、来訪のきっかけづくりを推進しています。
- 桂城・城南・城西・有浦・長木小学校、第一・東中学校では、ふるさとキャリア教育の一環として、ふるさとCMづくりやエゾタンポポの植栽、古代米の栽培等の活動を行っています。

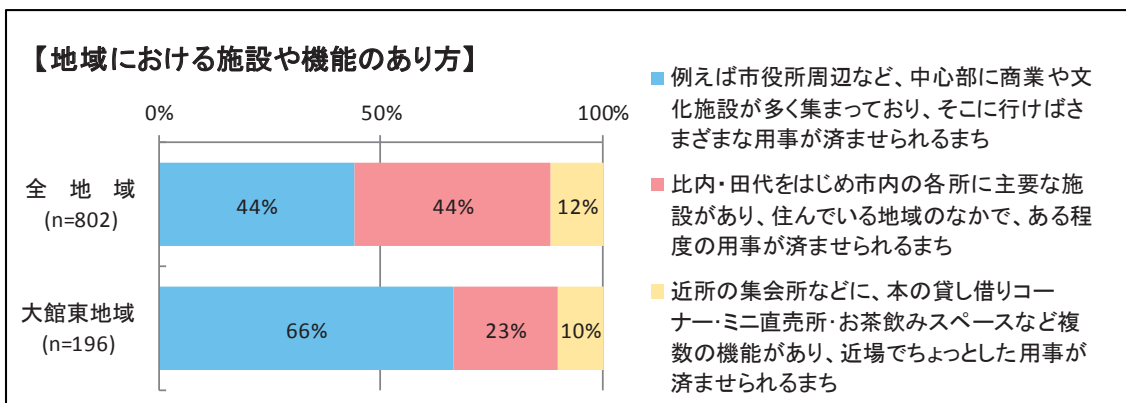
### 【市民アンケート】

- 市民アンケートのうち、全体の約24%が大館東地域（大館・長木）に居住している方の回答となっています。市全体の結果と比較し、大館東地域の回答の一部をとりまとめます。
- 大館東地域では、本市における総合的な暮らしやすさについて、「満足」・「不満」と回答した割合がそれぞれ約2割で、市全体と類似した傾向となっています。



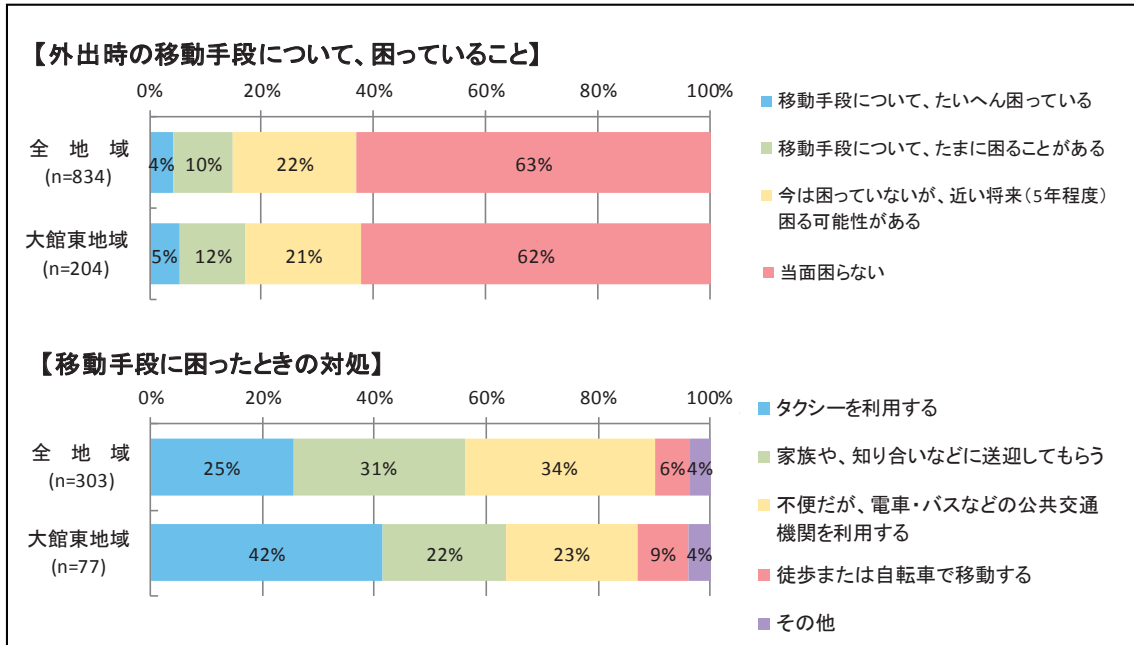
※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

- 地域における施設や機能のあり方について、「例えば市役所周辺等、中心部に商業や文化施設が多く集まっており、そこに行けばさまざまな用事が済ませられるまち」を目指したいと回答する方の割合が6割以上となり、市全体と比較して高くなっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

- 外出時の移動手段に困ることについて、移動手段に「当面困らない」が最も多く、市全体の割合と類似しています。
- 移動手段に困ったときは「タクシーを利用する」という回答が最も多く、4割を超えています。「公共交通機関を利用する」という回答は約2割で、市全体と比較して10%程度低くなっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。



写真 大館駅前

## (2) まちづくりの課題と方針

大館東地域にある中心市街地は、古くは城下町、羽州街道が通過する宿場町として、鉾山の振興を背景とした賑わいのあるまちなかとして発展してきました。この中心市街地は、本市を代表する祭りも開催され、活力の源でもある地域ですが、人口減少や少子高齢化等の影響を受けて空き地・空き家が増加する等、活力の低下が深刻な状況となっています。

市民ワークショップにおいては、市の中心として、夢にチャレンジできるまち、若者をはじめとした多世代の人々や秋田犬が常に集い、交流できる場にしたいという意見が活発に出されました。

大館東地域においては、既存の施設や空き地を有効活用しながら、常にさまざまな世代が集うまちづくりを進めていく必要があります。

これらを踏まえ、将来像を「夢 チャレンジおおだて ～みんなが集う大館をつくろう～」と掲げ、全体構想で定めた5つの柱ごとに、まちづくりに関する課題と方針をとりまとめます。



写真 市民ワークショップの様子



## ＜大館東地域が目指す姿の概要＞

現況・課題				
【土地利用】	【まちなか】	【地域の力】	【資源】	【機能】
・まちの活性化につながる計画的な土地利用の推進が求められる。	・空き地、空き家の有効活用、民間活力の活用等による賑わいの再生が求められる。	・多世代が集い、交流できる場づくりが求められる。	・歴史や文化を活かしたまちなみ景観づくりが求められる。	・交通環境の向上が求められる。 ・都市計画道路の整備率の向上が求められる。

大館東地域  
将来像夢 チャレンジおおだて  
～みんなが集う大館をつくろう～

## まちづくりの方針

1	土地利用がもっと充実する	都市機能誘導区域を中心に、まちの活性化につながる計画的な土地利用を図ります。
2	もっとまちなかを活用する	空き地や空き家の有効活用、民間活力の活用等により、中心市街地の魅力を高める仕組みづくりを推進し、さまざまな世代が集い、賑わいのあるまちなかの形成を図ります。
3	もっと地域の力を活用する	空き店舗等を活用しながら、若者が働きやすい環境づくりを目指し、住民と協働した地域づくりを推進します。
4	もっと資源をつなげる	歴史的なまちなみ景観づくり、秋田犬を活かしたまちづくりを推進するとともに、気軽に楽しめる観光・レクリエーションの場を確保します。
5	もっと機能をつなげる	交通環境の向上や、まちなかの住環境を支える基盤づくり等を推進するとともに、都市計画道路の見直し・評価を行います。

## <5つの柱に基づくまちづくりの課題と方針>

### 1 土地利用がもっと充実する

【課題】 中心市街地では、まちの活性化につながる計画的な土地利用が求められます。

▶ 【方針】

- 御成町南地区土地区画整理事業により、まちなかの魅力回復、既存の都市基盤や空き地の有効活用、賑わいのある中心市街地の形成を進めます。
- 賑わいの再生が求められる大町及び周辺地区については、民間活力を導入した旧正札竹村の跡地利用等、空き地や空き家の有効活用を検討します。
- （主）大館十和田湖線の沿道地区は、調和の取れた商業・業務施設地として計画的な都市的土地利用を図ります。

【課題】 長木川沿いの平地等、基盤産業を支える農用地の確保が求められます。

▶ 【方針】

- 大田面地区を中心に大型商業施設が立地し、周辺の宅地化が進んでいることを踏まえ、計画的な土地利用を進めます。
- 農業の担い手を確保し、効率的な農業生産活動を推進するため、芦田子地区や雪沢地区におけるほ場整備事業を進めます。

【課題】 東部の山地は国有林等となっており、豊かな自然環境の維持・保全が求められます。

▶ 【方針】

- 鳳凰山等の東部の山地部を含めた自然環境は、ふるさとの原風景として維持・保全を図ります。

### 2 もっとまちなかを活用する

【課題】 商業、業務、医療、文化等の高次都市機能が集積するまちなかは、市全体の都市サービス提供の中心的な役割を担っていますが、活力の低下、空き家や空き店舗の増加が課題となっており、立地適正化計画を踏まえた利便性が高く暮らしやすいまちなかの形成が期待されます。

▶ 【方針】

- 商業振興策と連携しながら、住民が主体となった地域活動、まちなかの魅力回復や既存の都市基盤の有効活用、土地区画整理事業の推進、観光情報の集約による観光拠点の形成等により、さまざまな世代が集う賑わいのある中心市街地の形成を目指します。
- まちなかの利便性確保や賑わいの創出に向け、空き地や空き店舗等を活用した官民連携による空間の整備検討やリノベーションまちづくりを進めます。
- 子育てしやすい環境を充実させ、子育て世代の定住を目指すため、まちなかにおける子育て支援拠点の確保・充実を図ります。

【課題】中心市街地には、民間商業施設や公営駐車場解体予定後の公有地、老朽化し利用者が減少している運動公園等といった公的資産が存在しており、まちなかの重要な資源として、今後活用していくことが求められます。

【方針】

- まちなかの公有地や公園等の公的資産を活用し、中心部に不足している機能を誘導することで、利便性の向上や賑わいの創出を図ります。
- 既存公共施設の統廃合・統合・廃止、用途転用等の多様な活用により、まちの賑わいと交流を促進し、利便性の高い拠点施設の確保を検討します。

【課題】大館駅は、市の玄関口としてのポテンシャルが活かしきれていない状況であり、交通結節点としての機能や、賑わい創出による求心力の向上を図ることが必要です。

【方針】

- 大館駅の交通結節点としての機能向上を図るとともに、周辺に観光や交流の核となる拠点を整備し、賑わいや交流の促進を図ります。
- 大館駅前地区都市再生整備計画による駅周辺の整備として、駅前広場の整備や周辺の電線地中化、秋田犬の里の整備等を進めます。

### 3 もっと地域の力を活用する

【課題】市民ワークショップでは、常に人々が集まるまちなかづくりや、子どもたちと高齢者がふれあう機会づくりに関する意見が挙げられています。

【方針】

- 支援の必要な高齢者や障がいのある人が安心して暮らすことのできる支援体制や環境整備を進めるため、利便性の高い中心市街地に相談窓口等のサービス機能を集約し、高齢者、障がい者、子ども及び子育て世代等、さまざまな世代の相互交流の場を創出し、多世代型地域共生社会の構築に向けた拠点機能の向上を図ります。

【課題】若者が希望する職場に就ける環境や、活躍できる場が求められています。また、まちなかの商店街においては、事業主が高齢化し、事業の継続が困難となることで、空き店舗化するケースがみられます。

【方針】

- 商工団体や金融機関等の連携、国・県等の支援策の活用を図り、若者の起業・創業に対するニーズに応じた総合的な支援を進めます。
- 老朽化した空き店舗等について、修繕に対する支援等により有効活用を促進します。
- 創業支援制度や空き店舗活用制度により、若者の起業を支援します。

【課題】用途地域外等の農林業を支える地域は、地域コミュニティの維持や生活機能の確保等が困難になることが懸念されます。

【方針】

- 用途地域外等の農林業を支える地域は、農林業振興や景観・環境保全等の関係施策と連携するとともに、小さな拠点の形成について検討を進めます。

【課題】 郊外部の農村集落では、居住空間と土砂災害危険区域が近接しており、対策が求められます。

【方針】

○居住空間と土砂災害危険区域が近接している箇所については、土砂災害対策をはじめとする安全な地域づくりを推進します。

【課題】 ふるさとキャリア教育や市民ワークショップを通して、地域づくりについて考える気運が高まり、これらの取り組みを継続・活性化することが求められます。

【方針】

- ふるさとキャリア教育や地域応援プランによる地域づくりを継続し、子どもから高齢者まで、あらゆる年代の人々による交流を推進します。
- 近年、参加者が減少している大館神明社例祭や、規模が縮小している大館大文字まつりを盛り上げ、暮らしの楽しさや魅力をさらに向上させる地域づくりを推進します。
- 祭文化の継承を支援するとともに、回遊性の向上を図るため、歩きやすい環境づくりを推進します。

#### 4 もっと資源をつなげる

【課題】 歴史的風致維持向上計画を踏まえ、大館城跡の歴史や文化を活かしたまちなみ景観づくりを引き続き進めるとともに、本市を代表する祭りやイベント等の開催地であり、秋田犬との交流ができる等の強みをさらに活用することが期待されます。

【方針】

- まちなかに残る歴史的建造物の保全や良好な景観の形成、大館城址周辺のまちなみ環境整備等により、地域活性化と定住の促進や、来街者のまち歩きとの推進と交流人口の拡大を目指します。
- 秋田犬の里を活用し、外国人観光客にも対応したおもてなしのまちづくりを推進します。

【課題】 公園や緑地等、市民が気軽に楽しめるレクリエーションの場を確保するとともに、長木川の渓谷美と溪流釣り等による観光交流の促進が求められます。

【方針】

- 長木川河川緑地や桂城公園、市街地に隣接する長根山運動公園等は、身近に四季の変化を感じることでできる拠点として、河川環境を保全しつつ、観光・レクリエーション等の利活用を図ります。
- 大館樹海ドーム周辺は、市民のスポーツレクリエーションの場としての活用を図り、大規模なスポーツイベントの継続開催を推進します。
- 街区公園等が不足する地域では、身近な公園の適正な配置と整備推進を図るとともに、公園長寿命化計画に基づき、適正な維持管理を進めます。

## 5 もっと機能をつなげる

【課題】人口減少・高齢化が進行する中で、自家用車に頼らなくても、徒歩や自転車、公共交通等により移動しやすい安全で安心して暮らせるまちづくりが必要です。

## 【方針】

- 大館駅の拠点機能の向上に向けた整備や市内循環バス「ハチ公号」の運行等、利便性の高い交通環境の維持・充実を図ります。
- 交通結節点における情報提供施設や待合環境整備、循環バスの充実や多様な移動手段との連携等、まちなかを気軽に移動できる交通網の形成に取り組みます。
- 分かりやすい運行情報・乗継情報の提供等、運行状況の見える化による公共交通の利便性向上と利用促進を図ります。
- 冬季における地域ボランティアによるバス待合所付近の除排雪等、地域と連携した維持管理の体制構築を検討します。
- 安全性や災害時への対応、冬季における雪対策、環境、景観等に配慮した歩行空間の整備等を促進することによって、誰もが安心して歩いて暮らせるまちづくりを目指します。

【課題】地域の骨格を形成する道路について、まちなかにふさわしい交通ネットワークの機能向上が求められます。

## 【方針】

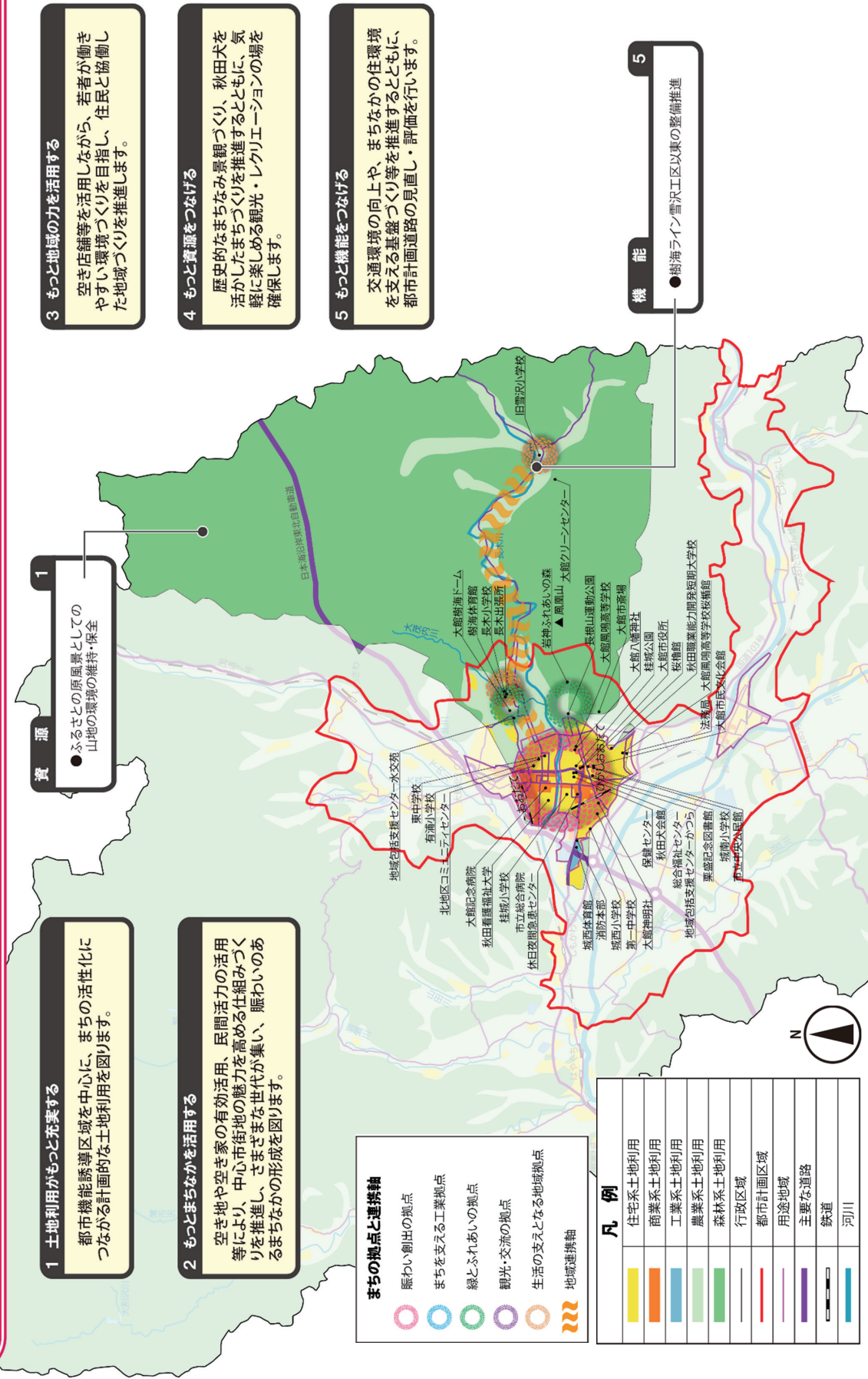
- 国道7号（長倉地区）や主要地方道大館駅停車場線などの電線地中化に向けた国・県との連携・調整を行います。
- 2017（平成29）年度秋田県公共事業評価専門委員会にて、（主）大館十和田湖線の雪沢工区について、延長約3kmの拡幅、バイパス事業が事業実施は妥当と評価されたことを踏まえ、今後は雪沢工区以東の事業化を目指します。
- 長期にわたって整備が進んでいない都市計画道路については、必要性や事業実現性を評価し、継続・変更・廃止について計画の見直しを進めます。

【課題】中心市街地は人口減少が進み、空き地や空き家が増加する等、「都市のスポンジ化」が進行しており、空き家の利活用等を含めた居住環境整備が必要です。

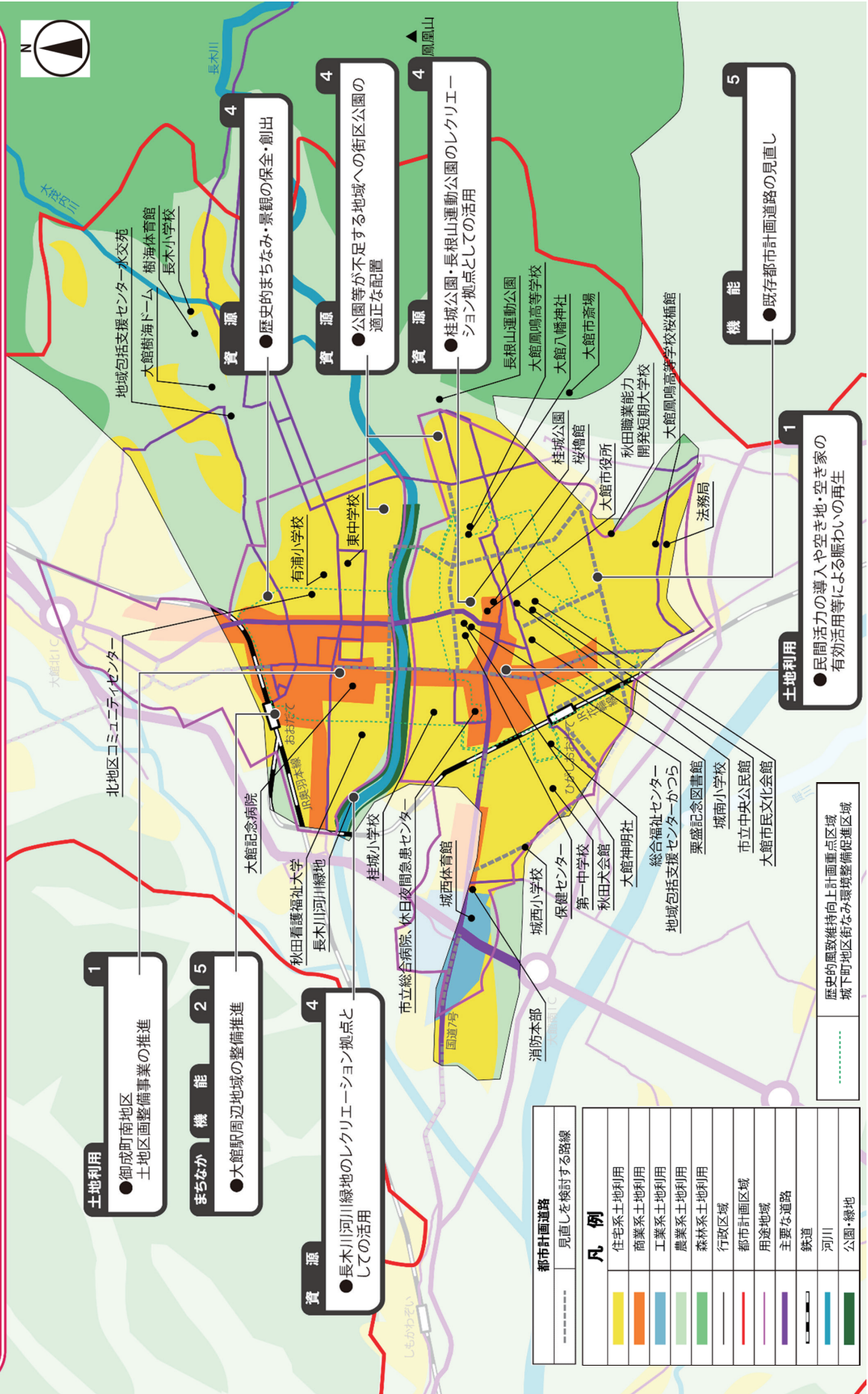
## 【方針】

- 既成市街地内の空き地や空き家、空き店舗を活用し、新たに移り住む人も呼び込めるような快適で安全な居住環境の形成を進めます。
- 現在、市全域を対象として取り組んでいる空き家対策事業や移住促進事業、住宅リフォーム支援事業を継続して行います。
- 既成市街地で住宅が密集している地域では、狭あい道路の改善や除雪対策、生活排水処理施設の普及等の促進を図ります。
- 住宅地においては、緑化運動の推進等によるうるおいのあるまちづくりを図ります。

# 大館東地域のまちづくり方針



# 大館東地域のまちづくり方針（拡大図）



## コラム ～未来の日常をイメージしよう～

中心市街地にさまざまな都市サービス機能が集積し、市を代表するお祭りや催しが盛んに行われている大館東地域では、10年後にどのような暮らしをしているのでしょうか？

市民ワークショップで得られた意見を踏まえながら考えてみましょう。

- ・ 地元に戻ってくる人、みんなが暮らしを楽しむことがキーワード
- ・ 人、もの、情報が行き来するまちなかづくりを進めたい
- ・ 一人でできることは少ない、みんなで手を結んで地域づくりを行っていく

「常に人が集まる場所として、**正札竹村の跡地活用**」が実現できた  
未来における日常を、具体的にイメージします。

### ○魅力あるまちなかづくり！

- ・ 正札竹村の跡地は、人々が集い、気軽に交流できる場として整備され、子どもからお年寄りまで多世代が楽しめる場所となっている。
- ・ 車を利用しなくても買い物に行ける、歩きたくなるまちなかづくりが推進されたことで歩行者が増え、リノベーションによって生まれ変わった新しいお店をゆっくり探検する楽しみもできたと評判になっている。
- ・ 子どもの遊ぶ声が響き、通学時は大人による見守り活動が行われ、安心して楽しく過ごせるまちなかになっている。
- ・ 愛犬家が集う場があり、犬をよく見かけるまちなかとして全国的に有名になっている。

### ○若者がさらに活躍する場づくり！

- ・ 若者を中心に、地域に足りないと感じるものや、地域がもっとよくなるためのアイデアを自由に出し合える場がある。
- ・ 起業を支援する仕組みや講習会等、人と人とを結びつける取り組みが盛んで、新しいことにチャレンジしやすい体制ができている。
- ・ お祭りや催しには若者が率先して参加し、地域活性化が進んでいる。

### ○将来に希望が持てる地域づくり！

- ・ 地元の企業や、大館で起業をした事例について子どもたちが知る機会が多くあり、地域でどのように働き続けるかイメージするための仕組みができている。
- ・ 一度地元を離れた人も、大館で頑張る人の話を耳にしたことでUターンを決めたり、リモートワークによる働き方を実現させたり、地域の取り組みが広く波及している。
- ・ MARUWWA（マルーワ）では、学生が勉強し、子育て中のママが起業準備をし、出張中のビジネスマンがリモートワークをする等、自由に活用されている。そこで出会った仲間たちで地域ビジネスを立ち上げ、新たな仕事をどんどん生み出している。

### ○地域の宝物がさらに輝く！

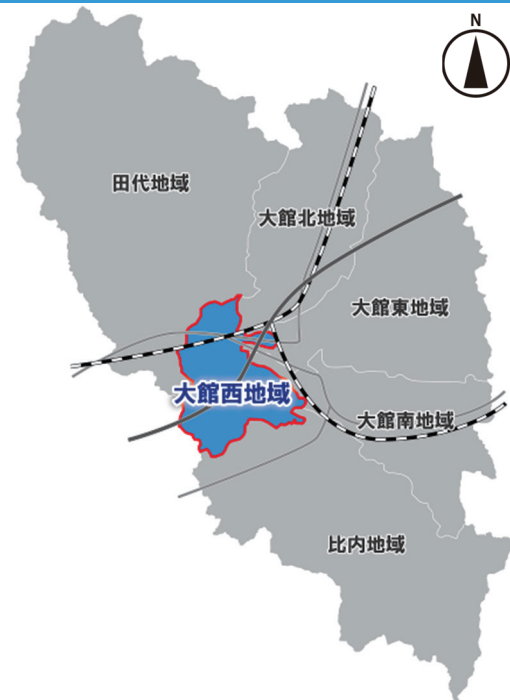
- ・ 秋田犬の里等を訪れる人で大館駅前が賑わい、歩いて大館を観光する人が増えている。
- ・ 大文字まつりや大館アメッコ市等、地域内外から訪れる人も多く、市を代表するお祭り・催しとして知名度が高まり、とんぶりや枝豆といった特産品も人気となっている。



## 5-2 大館西地域

## (1) 地域の現況

地域の概要	
面積	55.14km <sup>2</sup> 市全体の6%
人口	8,384人、市全体の11% ※2015(平成27)年 国勢調査
世帯数	2,933世帯、市全体の10% ※2015(平成27)年 国勢調査
15年間の人口増減	1,249人の減少(13%減) 2000(平成12)年9,633人から 2015(平成27)年8,384人へ ※国勢調査



地域を代表する主な施設等	
施設等	堆肥生産施設(コンポストセンター)、大館処理センター、二井田出張所、真中出張所
駅	下川沿駅(JR奥羽本線)
医療施設	西大館病院
学校	川口小学校、南小学校、下川沿中学校、南中学校、 県立大館桂桜高等学校
工業団地	二井田地区工業団地(県営大館工業団地、県営大館第二工業団地、市営二井田工業団地)
公園緑地	二ツ山総合公園、市民の森、二井田野球場
景観	片山風穴植生、出川の櫨、温泉寺、長瀨温泉

大館西地域は、市西部に位置し、西側が北秋田市等に隣接する地域です。面積は55.14km<sup>2</sup>で、市全体の6%を占めています。

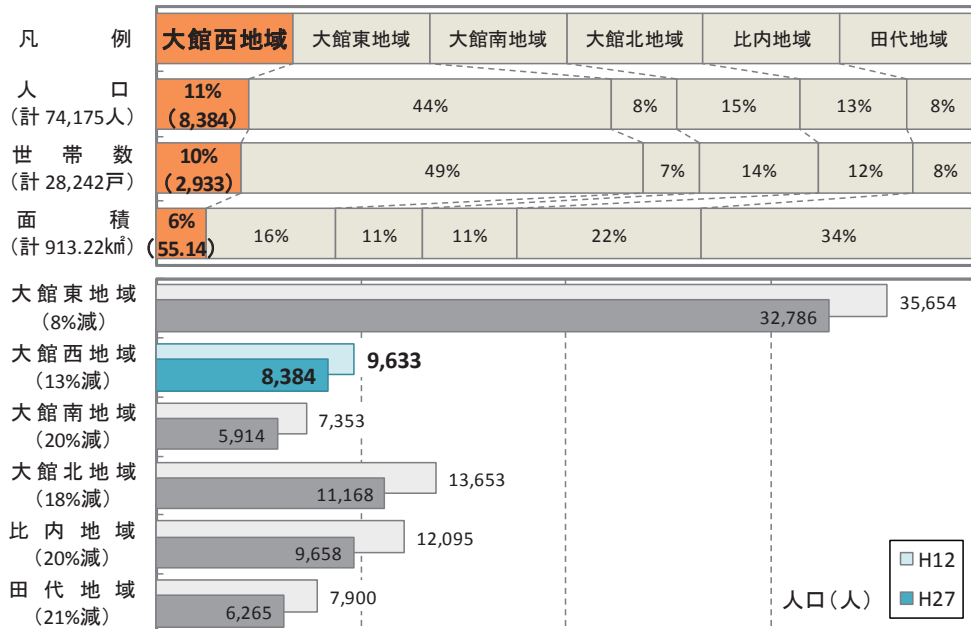
一級河川米代川が中央部を東から西に流れ、その支流である長木川と合流しています。北部・西南部は山地で、東南部の米代川沿いにまとまった平地が広がり、商業地や住宅地として利用されています。広大な田園地帯を有し、比内地域と隣接して二井田地区工業団地が立地しており、就業の場として機能しています。

### 【土地利用】

- 平地を中心に都市計画区域に指定され、東部の国道7号沿いが用途地域となっており、商業地や住宅地として利用されています。また、国道7号沿道では、用途地域外にも集落が形成されています。
- 工業団地として、二井田地区工業団地（県営大館工業団地、県営大館第二工業団地、市営二井田工業団地）が形成されています。
- 米代川沿いに広大な田園地帯が広がり、農業生産の場となっています。田園地帯の中に集落が点在しています。

### 【人口・世帯】

- 人口 8,384 人で本市の 11%、世帯数 2,933 世帯で本市の 10% を占めています。1 世帯当たりの人員は、2.9 人となっています。
- 2000（平成 12）年からの人口減少率は 13% であり、約 1,200 人減少しています。



資料：人口・世帯…2000（平成 12）年、2015（平成 27）年 国勢調査  
面積…2014（平成 26）年 10 月 1 日 GIS・国土の情報（全国都道府県市区町村の面積）  
※端数の処理により、見かけ上の合計が 100% とならない場合があります。

### 【文化・風景・特産物】

- 市指定天然記念物である出川の櫛（けやき）や、忠犬ハチ公の生家等があります。歴史資源として、名所である安藤昌益の墓や小林多喜二生誕の地碑、錦神社等があり、訪れた史跡や名所についてその場で詳しく知ることができるシステム「どこでも博物館」の整備が進んでいます。
- 山地に囲まれた広大な田園地帯とそこに流れる米代川は、本市を代表する身近な風景となっています。
- 隣接する比内地域との間に達子森があり、地域固有の景観を形成しています。

### 【観光レクリエーション】

- J R 奥羽本線沿線に長瀬温泉が立地し、温泉保養施設として利用されています。

○二ツ山総合公園、市民の森や達子森スキー場、二井田運動場・野球場等の施設が立地しており、市民のレクリエーションの場として活用されています。

### 【主要公共施設】

- 比内地域に隣接して工業団地が整備され、企業等の立地も進んでいることから、就業の場として機能しています。
- 生ごみや家畜廃棄物等を利活用する堆肥生産施設（コンポストセンター）が立地し、環境循環型社会の一端を担っています。

### 【交通基盤】

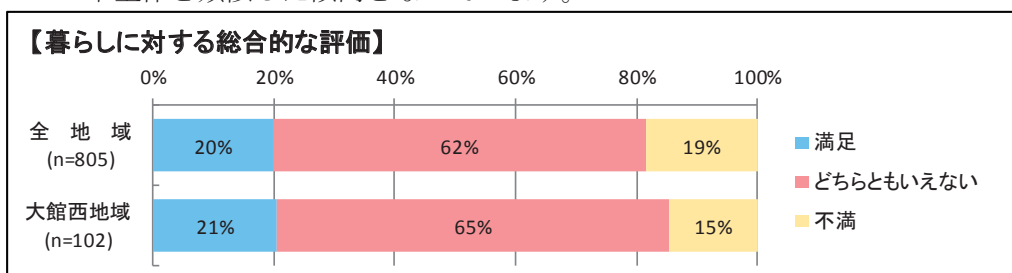
- JR奥羽本線が国道7号と並走しており、下川沿駅が立地しています。
- 本地域を横断する国道7号が主要幹線道路となっており、比内地域とを結ぶ幹線道路である（主）比内田代線、北秋田市や大館東地域の市街地とを結ぶ（一）大館鷹巣線等により道路網が形成されています。
- 日本海沿岸東北自動車道が整備され、二井田真中ICが供用開始し、高速交通の確保、周辺の企業進出・設備投資の後押しにも効果が期待されています。
- 大館能代空港ICの供用開始により国道7号の交通量が減少したことで、主要渋滞箇所として特定されていた立花交差点の特定解除が検討されています。
- 国道285号から二井田地区工業団地へ2.4kmのアクセス道路が整備され、地域の雇用を担う工業団地の有効活用が図られています。
- 板沢地区における（主）比内田代線の整備が完了し、安全性の向上が図られています。

### 【まちづくり活動】

- 川口・南小学校、下川沿・南中学校では、ふるさとキャリア教育の一環として、地域住民と協働したさつまいも栽培や立花ねぎのPR、地域交流ボランティア等の活動を行っています。
- 地域応援プランを活用し、農業やハチ公の故郷といった特色を活かした地域活性化の取り組みが行われています。

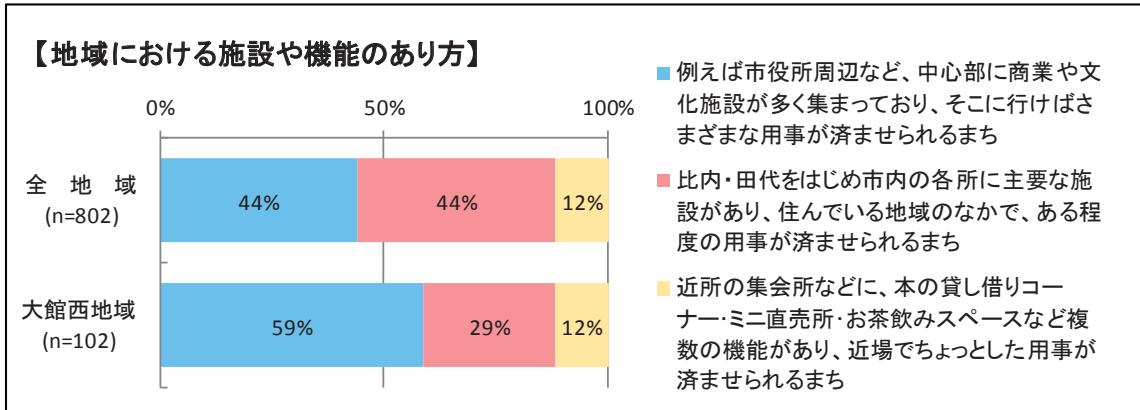
### 【市民アンケート】

- 市民アンケートのうち、全体の約12%が大館西地域（下川沿・真中・二井田）に居住している方の回答となっています。市全体の結果と比較し、大館西地域の回答の一部をとりまとめます。
- 大館西地域では、本市における総合的な暮らしやすさについて、「どちらともいえない」と回答した方の割合が約6割と最も多く、「満足」・「不満」がそれぞれ約2割と、市全体と類似した傾向となっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

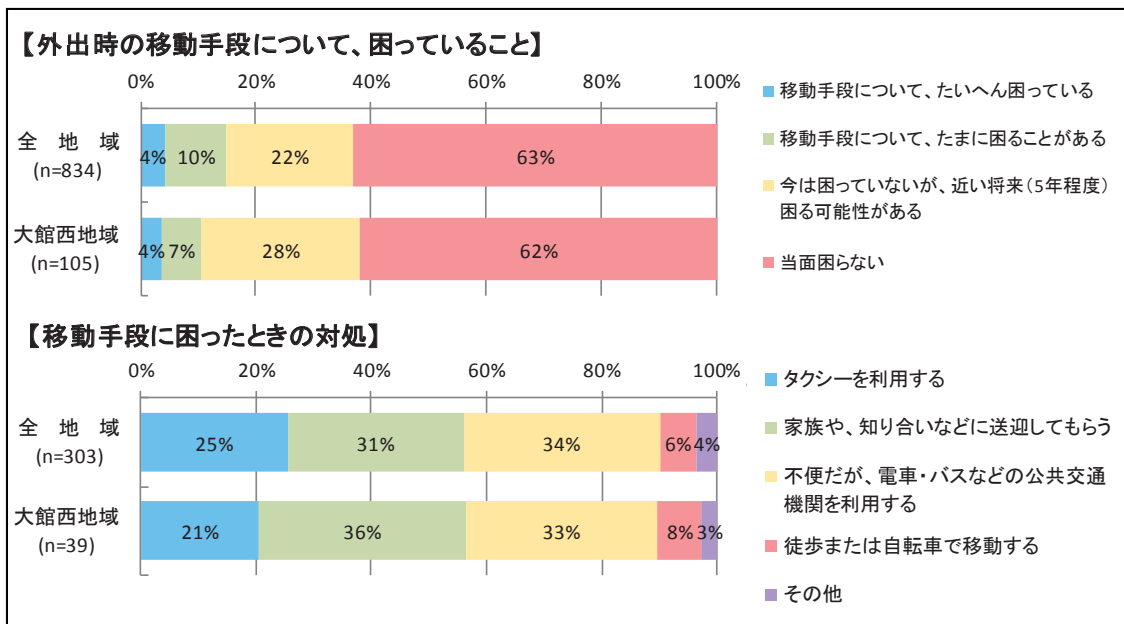
○地域における施設や機能のあり方について、「例えば市役所周辺等、中心部に商業や文化施設が多く集まっており、そこに行けばさまざまな用事が済ませられるまち」を目指したいと回答する方の割合が約6割となり、市全体と比較して高くなっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

○外出時の移動手段に困ることについて、移動手段に「当面困らない」が最も多く、市全体と比較して「近い将来（5年程度）困る可能性がある」と回答した方の割合がやや高くなっています。

○移動手段に困ったときは「家族や知り合いの送迎」・「公共交通機関を利用する」という回答がそれぞれ約3割で、市全体と類似した傾向となっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

## (2) まちづくりの課題と方針

安藤昌益や小林多喜二といった偉人にゆかりのある地であり、広大な田園は本市における農業の生産基盤となっています。日本海沿岸東北自動車道が整備されたことで交通の利便性が高まり、二井田地区工業団地での産業のさらなる発展が期待されています。

市民ワークショップでは、工業団地で働く人を地域に呼び込みながら、実り豊かな田園、自然、数多くある神社や歴史的名所を保全・活用するという意見が挙げられました。

農業・工業の魅力を発信することで若者を呼び込み、地域のコミュニティをさらに活性化させる地域づくりを進めていく必要があります。

これらを踏まえ、将来像を「農工基盤に若者が集まり、笑顔が生まれる地域～大館のよさを全国発信～」と掲げ、全体構想で定めた5つの柱のうち、地域に関連する4つの柱についてまちづくりに関する課題と方針をとりまとめます。

### <大館西地域が目指す姿の概要>

現況・課題			
【土地利用】	【地域の力】	【資源】	【機能】
<ul style="list-style-type: none"> <li>工業団地の活用に期待。</li> <li>田園地帯や自然景観の維持・保全が求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住まいが土砂災害危険区域に近接。</li> <li>郊外部の集落における日常生活サービスの確保等が懸念。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>点在する歴史資源の保全と活用、資源のネットワーク化が求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区における暮らしやすさや生活環境の向上が求められる。</li> </ul>

### 大館西地域 将来像

農工基盤に若者が集まり、笑顔が生まれる地域  
～大館のよさを全国発信～

### まちづくりの方針

1	土地利用がもっと充実する	農工業のさらなる発展を目指し、工業系用地や農地を維持しながら、計画的な土地利用を推進します。
2	もっと地域の力を活用する	土砂災害対策等により暮らしの安全性を確保しながら、住民と協働した地域づくりを推進します。
3	もっと資源をつなげる	豊富な歴史資源の保全・活用を目指し、環境整備や資源のネットワーク化を推進しながら、循環型農業の拠点づくりを行います。
4	もっと機能をつなげる	道路整備による交通利便性の維持・向上を図りながら、快適な生活環境を形成するための整備を推進し、安心して暮らせる環境づくりを進めます。

## ＜4つの柱に基づくまちづくりの課題と方針＞

### 1 土地利用がもっと充実する

【課題】 地域南部に立地する二井田地区工業団地は、就業の場として今後も大きく期待されます。

▶ 【方針】

○二井田地区工業団地については、医療機器・医薬品産業を中心に既存企業の事業拡大を推進しながら、工業系用地の適正な配置を図ります。

【課題】 広大な田園地帯は、将来の就業の場としても重要な役割を担うことから、稲作地帯の維持・保全が求められます。

▶ 【方針】

○農業施策等と連携しながら、昔ながらの景観に配慮した道路整備や適正な土地利用の誘導等を進め、豊かな田園地帯や農村景観の計画的な保全を図ります。  
○農地法等の適切な運用のもとに、基盤整備事業や農業振興地域制度に基づきながら優良農地を確保していきます。

【課題】 ホテル等の生息の場ともなっている河川の恵みによって田園地帯が拓かれ、市を代表する農業生産地域となっていることから、自然景観や河川環境の維持・保全が求められます。

▶ 【方針】

○身近な風景として親しまれている米代川等をはじめとして、河川の恵みを活かした風土づくりを目指し、河川環境の保全と活用を図ります。

### 2 もっと地域の力を活用する

【課題】 老朽化が進む市民の森について、住民と協働した再生が必要とされています。

▶ 【方針】

○憩いや健康づくりの場としての機能を果たすため、市民の森における比内前田農業協同組合やトンボ公園における大館自然の会と、共同施設管理の取り組みを継続します。  
○桜やトンボ観察等、市民の森の魅力を伝える情報発信を推進し、利用者の増加を目指します。

【課題】 郊外部等の農林業を支える地域は、地域コミュニティの維持や生活機能の確保等が困難になることが懸念されます。

▶ 【方針】

○農林業振興や景観・環境保全等の関係施策と連携するとともに、小さな拠点の形成について検討を進めます。

【課題】居住空間と土砂災害危険区域が近接している箇所があり、対策が求められます。

【方針】

- 県では2019（平成31）年度までに基礎調査を完了し、土砂災害警戒区域等の指定を進める予定であるため、安全な地域づくりを推進します。

【課題】ふるさとキャリア教育や市民ワークショップを通して、地域づくりについて考える気運が高まり、これらの取り組みを継続・活性化することが求められます。

【方針】

- ふるさとキャリア教育や地域応援プランによる地域づくりを継続し、子どもから高齢者まで、あらゆる年代・立場の人々の交流を推進します。
- 豊かな田園と、若者が多く働いている二井田地区工業団地を活かして、農業・工業の魅力为全国へ発信し、さらに若者を地域に呼び込むような地域づくりを推進します。

### 3 もっと資源をつなげる

【課題】安藤昌益や小林多喜二といった逸材とゆかりが深く、忠犬ハチ公の生誕した地域として、一里塚等、点在する歴史資源の保全・活用が求められます。

【方針】

- 豊富な歴史文化資源について、周辺の環境整備や時代に即したサイン等の整備や、他地域を含めた資源のネットワーク化を進めます。
- QRコード付きの案内板や標柱の設置に引き続き取り組みます。
- 地元を主体として、奥州藤原氏を縁とした平泉町等との交流支援等の推進を図ります。

【課題】大規模公園等、市民の憩いの場の形成が求められます。

【方針】

- 二ツ山総合公園の整備を推進し、大館冒険あそびプレーパーク等、子育てに関する拠点として活用を図ります。

【課題】環境と調和した持続可能な農業を推進し、農業の生産拡大が求められます。

【方針】

- 堆肥生産施設（コンポストセンター）を、農業振興に向けた循環型農業の拠点として活用します。

【課題】犀川や長木川・引欠川等の支川が合流し、さらに下流に狭窄部がある米代川について、水質管理や治水対策が求められます。

【方針】

- 国や県と連携しながら森林機能の維持を図り、河川の水質を守ります。

#### 4 もっと機能をつなげる

【課題】日本海沿岸東北自動車道、二井田真中 I C の供用により、国道 7 号や二井田地区工業団地への（主）比内田代線の交通量が増加しています。

▶ 【方針】

○交通量が増加している（主）比内田代線について、狭あい部の拡幅整備を推進します。

【課題】地域内の各地区において、安全性や暮らしやすさの向上が求められます。

▶ 【方針】

○下川沿地区の国道 7 号沿いや農村集落等については、安全な歩行空間の確保や下水道の整備推進等により、生活環境の向上を図ります。

○川口・立花地区の下水道整備については、PPP/PFI 方式によるコスト削減を図るとともに、早期の整備完了を目指します。

【課題】市民ワークショップでは、公共交通のアクセス性の確保や、運転免許返納後の交通機関に関する意見が挙げられています。

▶ 【方針】

○商業施設や病院と連携したバス運行や、スクールバスの活用、学校と連携した利用促進策の実施等、産学官が連携した交通サービスの提供や公共交通利用促進策等に向けて取り組みます。

○運転免許を自主返納した高齢者を対象に、協賛店での割引やタクシー利用料金の割引等の優遇措置を継続するとともに、取り組みの周知、拡大に努めます。



写真 忠犬八子公の生家 八子公像



# 大館西地域のまちづくり方針

## 1 土地利用がもっと充実する

農工業のさらなる発展を目指し、工業系用地や農地を維持しながら、計画的な土地利用を推進します。

## 3 もっと資源をつなげる

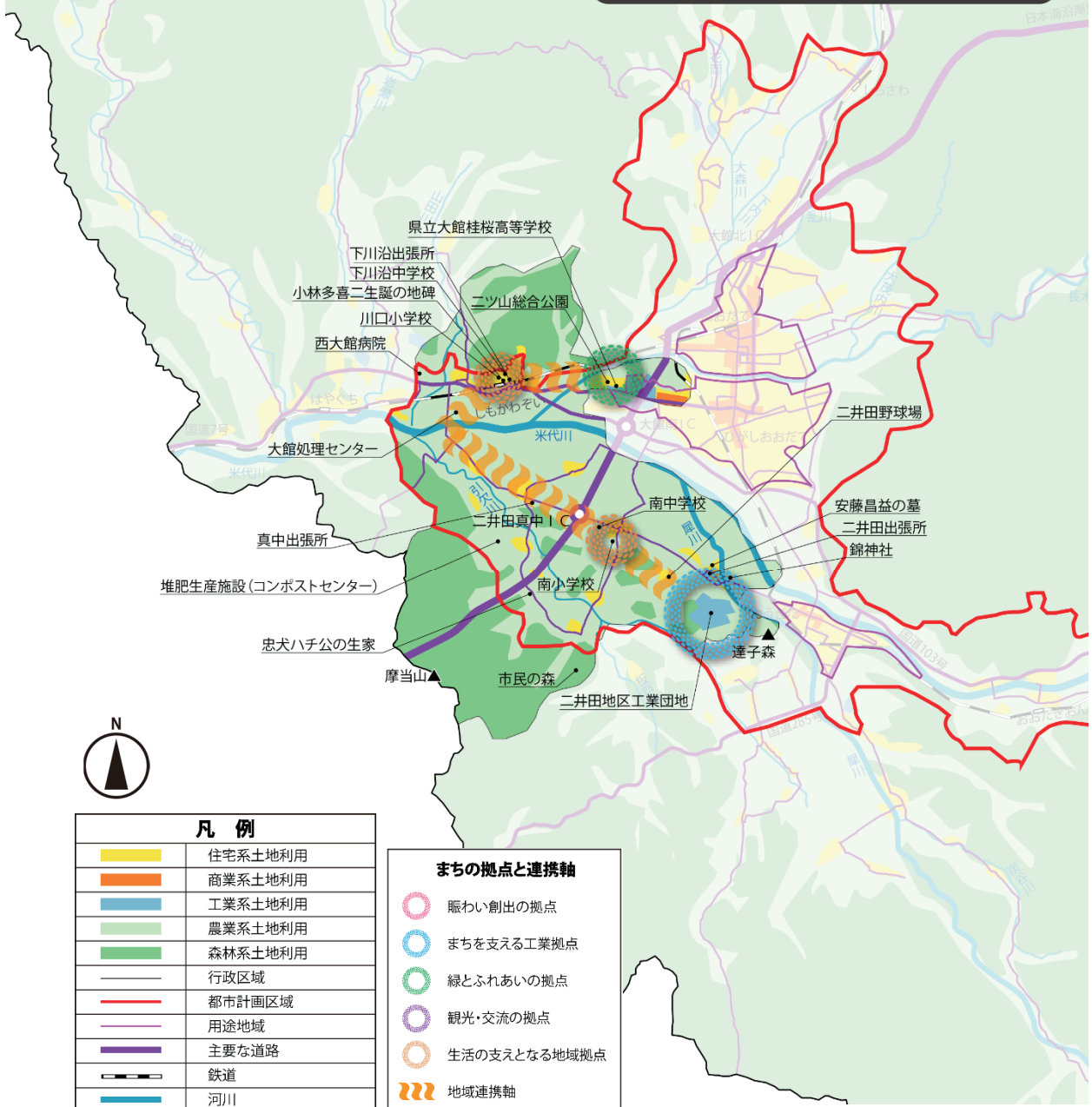
豊富な歴史資源の保全・活用を目指し、環境整備や資源のネットワーク化を推進しながら、循環型農業の拠点づくりを行います。

## 2 もっと地域の力を活用する

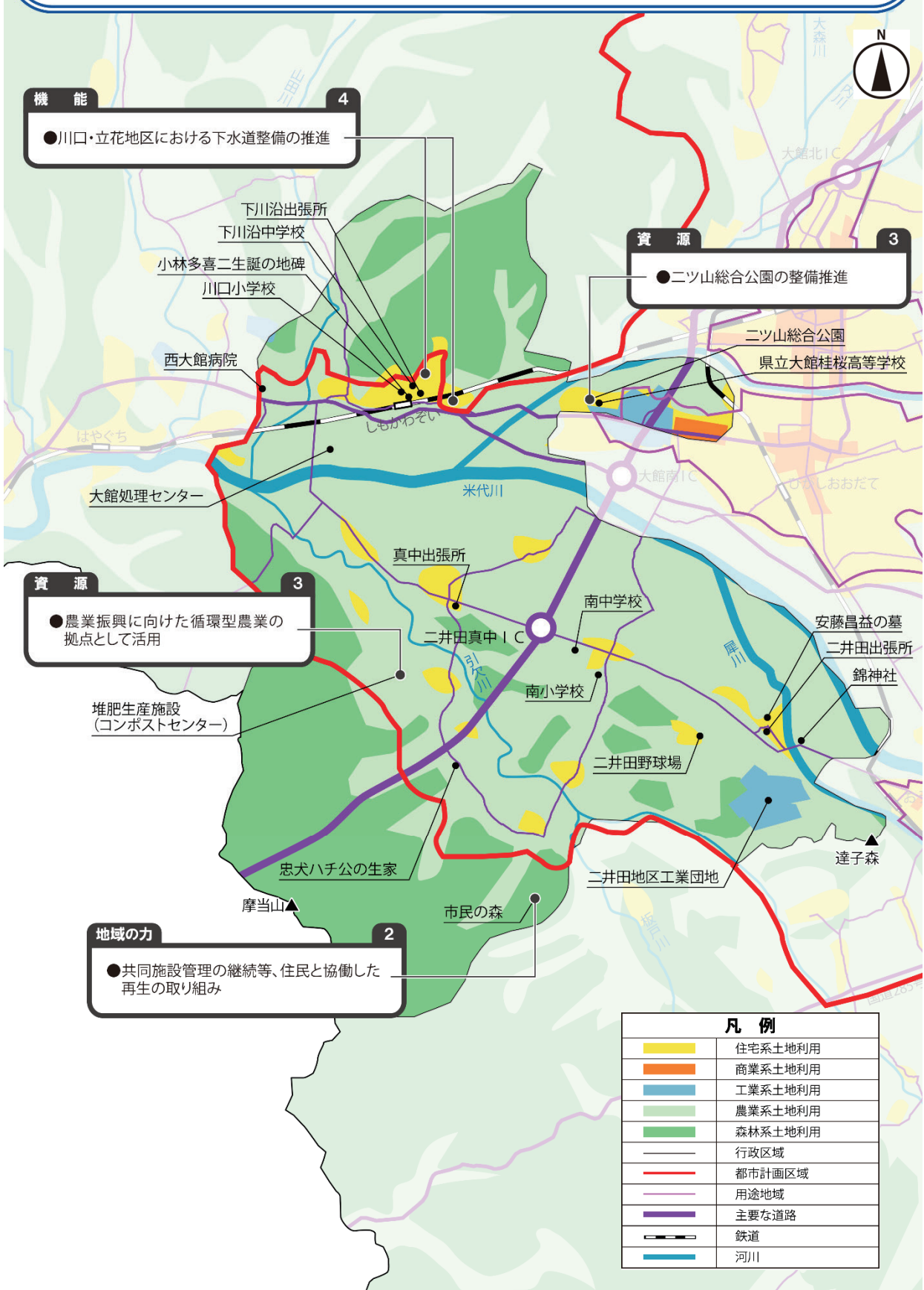
土砂災害対策等により暮らしの安全性を確保しながら、住民と協働した地域づくりを推進します。

## 4 もっと機能をつなげる

道路整備による交通利便性の維持・向上を図りながら、快適な生活環境を形成するための整備を推進し、安心して暮らせる環境づくりを進めます。



# 大館西地域のまちづくり方針（拡大図）



## コラム ～未来の日常をイメージしよう～

広大な田園地帯を有しており、二井田地区工業団地が立地し、たくさんの歴史資源に恵まれた大館西地域では、10年後にどのような暮らしをしているのでしょうか？

市民ワークショップで得られた意見を踏まえながら考えてみましょう。

- ・地域の特色を活かしながら、連携した地域づくりを盛り上げていきたい
- ・農業、工業の魅力を発信することで、若者を全国から呼び込みたい
- ・若者が集まり、子どももお年寄りもみんなが笑顔で暮らせる地域にしたい

「**二井田・真中・下川沿それぞれに地域ごとの特色を出した拠点づくり**」が  
実現できた未来における日常を、具体的にイメージします。

### ○地域全体で農業を活性化！

- ・農業の魅力をインターネット等で発信することにより、農業に興味を持つ若者からの注目が集まり、農業体験等も盛んになっている。
- ・大館南小学校の「さつまいも夢プロジェクト」のように、色々な農作物の収穫を小学校と地域が一緒に行うことで、子どもと農業の結びつきがさらに強くなっている。

### ○二井田地区工業団地と連携！

- ・工業団地の働き手や企業とともに地域をPRしたり、一緒にお祭りを行ったり、交流が生まれることで地域が活性化している。
- ・採れ立ての野菜の直売所を工業団地や羽州街道に出店し、新鮮な農作物のおいしさが口コミで広がり、人気を博している。

### ○子どもや若者が未来を描ける地域づくり！

- ・子どもたちが地元の企業から話を聞き、見学や体験できる機会がたくさんあり、地域で働くことについて具体的にイメージすることができる。
- ・地域を離れた若者も何らかの形で大館に関わり続け、将来的には戻ってきて、やりたいことを実現させるような未来を描くことができる。

### ○安心して暮らせる場づくり！

- ・子どもから高齢者まで誰もが集まることができる場所があり、困ったときの相談等、ゆっくり話せる雰囲気がつくられている。
- ・グループホームのように、町内で暮らしを支え合える場があり、安心して生活することができている。
- ・運転免許返納後も、割引等の制度を利用し、バスやタクシーによって自由に移動することができている。

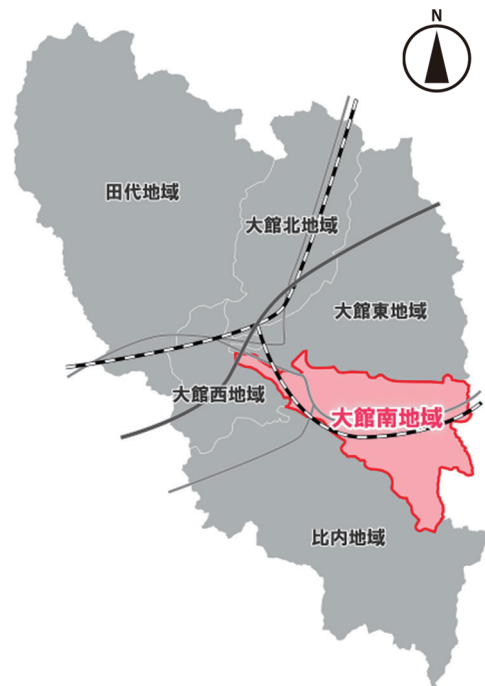
### ○地域の宝物がさらに輝く！

- ・QRコード付きの案内板等の整備が進んだことで、歴史資源を巡る観光客が訪れ、地域ぐるみの交流が生まれている。
- ・ニツ山総合公園は子どもも大人も楽しめる場として賑わい、大館冒険あそびプレーパーク等の催しが定期的に開催されている。

### 5-3 大館南地域

#### (1) 地域の現況

地域の概要	
面積	96.62km <sup>2</sup> 市全体の11%
人口	5,914人、市全体の8% ※2015(平成27)年 国勢調査
世帯数	1,966世帯、市全体の7% ※2015(平成27)年 国勢調査
15年間の人口増減	1,439人の減少(20%減) 2000(平成12)年7,353人から 2015(平成27)年5,914人へ ※国勢調査



地域を代表する主な施設等	
施設等	十二所体育館、地域包括支援センターおおたき、老犬神社、北部老人福祉総合エリア、北鹿ハリストス正教会聖堂、社会福祉協議会、上川沿出張所、十二所出張所
駅	大滝温泉駅、十二所駅、沢尻駅(JR花輪線)
医療施設	秋田労災病院
学校	上川沿小学校、成章小学校、成章中学校
工業団地	—
公園緑地	根下戸地区米代川河川緑地
景観	三哲山、鞍掛山

大館南地域は、市の中央部から東部に位置し、東側が鹿角市に隣接する地域です。面積は96.62km<sup>2</sup>で、市全体の11%を占めています。

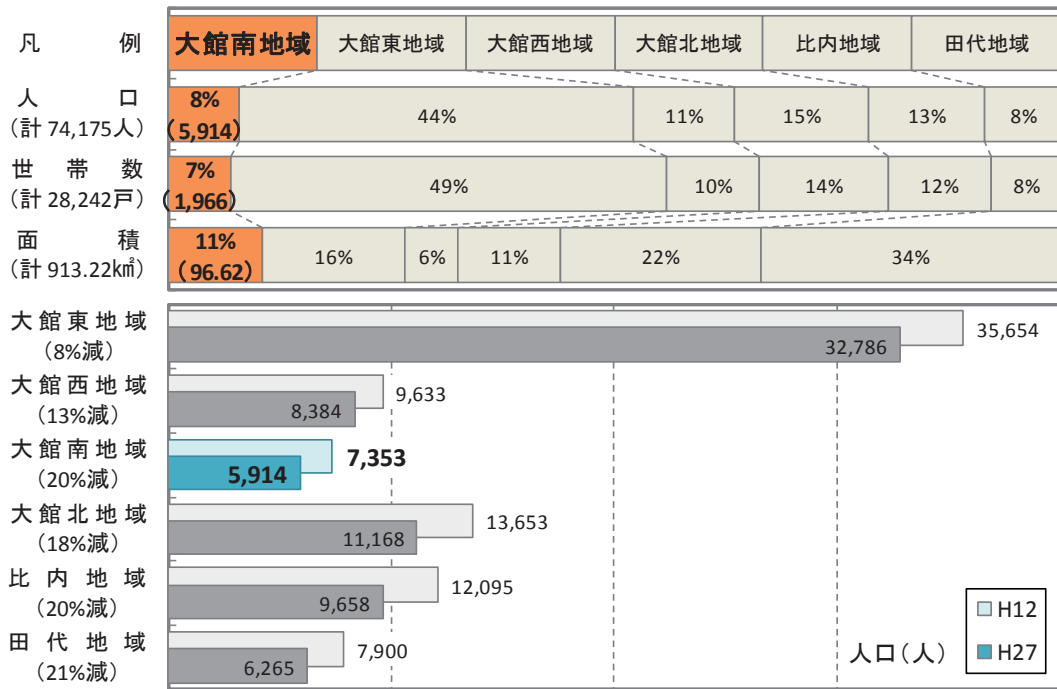
一級河川米代川が東部から北西部に流れ、北部から東南部は山地となっています。米代川沿いの平地は住宅地や農用地として利用され、伝統ある温泉町である大滝温泉や、高齢者福祉サービスの拠点である北部老人福祉総合エリアが立地し、憩いと賑わいの場となっています。農用地ではさまざまな複合農業が行われ、住民や観光客が農産物を求めて地域を訪れています。

【土地利用】

- 地域の大部分が森林に覆われ、米代川沿いの平地は農用地として利用されており、集落が点在しています。
- JR花輪線の駅周辺に宅地が集積しており、大滝温泉駅周辺は温泉町となっています。十二所駅周辺は、北部老人福祉総合エリアが整備され、高齢者福祉サービスの拠点となっています。
- (市)大町山館線(旧国道103号)沿道に、集落や商業地が広がっています。
- 北西部の農用地では野菜の生産が盛んであり、米代川沿いでは、稲作・畑作・果樹・酪農等の複合農業が行われています。

【人口・世帯】

- 人口5,914人で本市の8%、世帯数1,966世帯で本市の7%を占めています。1世帯当たりの人員は、3.0人となっています。
- 2000(平成12)年からの人口減少率は約20%であり、約1,400人減少しています。



資料：人口・世帯…2000(平成12)年、2015(平成27)年 国勢調査  
面積…2014(平成26)年10月1日 GIS・国土の情報(全国都道府県市区町村の面積)  
※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

【文化・風景・特産物】

- 県指定文化財である北鹿ハリストス正教会聖堂のほか、多数の工芸が県・市指定文化財となっています。
- 三哲山や鞍掛山等が優れた山地景観を形成しています。
- 「ふるさと祭りおおみや」に「陽気な母さんの店」が出店する等、函館GC、首都圏イベント等において果樹等の物販を行い、市内農産物のPRを行っています。また、高品質の農産物を生産・加工することにより、体験事業を通じて、地域への人の呼び込みを図っています。

- 国道 103 号沿いには農産物の直売所が立地し、地域住民や観光客が、地域で収穫した新鮮な野菜や果物等を求めて集まっています。
- 十二所公民館では、老犬神社に祭られた忠犬シロの悲話をテーマにした語り部の集いが開催され、神社見学等も行われています。
- 別所地区は、優れた農村景観を維持している地域として「守りたい秋田の里地里山 50」に認定されています。

### 【観光レクリエーション】

- 伝統ある温泉町の大滝温泉をはじめとした市内の温泉地は、国民保養温泉地として指定されています。
- 北部老人福祉総合エリア等においてイベントが開催され、多くの賑わいを創出しています。
- 米代川は鮎釣りとして全国的に知名度が高く、特に大滝温泉周辺は釣り客が多くなっています。

### 【主要公共施設】

- 北部老人福祉総合エリアを中心に福祉施設が立地し、秋田労災病院等の医療施設も立地しています。
- 北西部に大館南 I C が立地し、自動車交通の分岐点となっています。

### 【交通基盤】

- J R 花輪線が国道 103 号と並走しており、大滝温泉駅、十二所駅、沢尻駅の 3 つの駅が立地しています。
- 国道 103 号が東西を横断しており、主要幹線道路となっています。北西部の大館南 I C につながる国道 103 号大館南バイパスが整備されています。
- 秋田市から続き国道 103 号につながる国道 285 号と、鹿角市につながる（主）十二所花輪大湯線が幹線道路となっています。

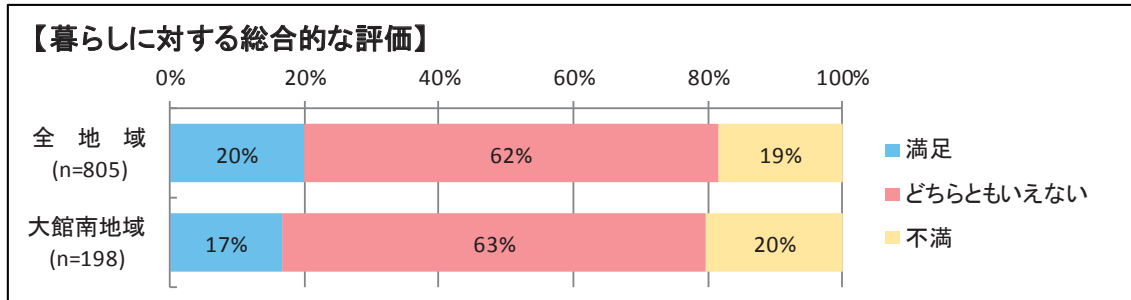
### 【まちづくり活動】

- 2017（平成 29）年の根下戸地区米代川河川緑地の整備に合わせ、国土交通省河川協力団体制度を活用して根下戸米代川公園管理組合が設立され、住民参加による維持管理を行っています。
- 上川沿・成章小学校、成章中学校では、ふるさとキャリア教育の一環として、果物や枝豆を活かした栽培・販売体験や、花ボランティア等の活動を行っています。
- 葛原自治会による老犬神社周辺の環境整備等、地域応援プランを活用した地域活性化の取り組みが行われています。

### 【市民アンケート】

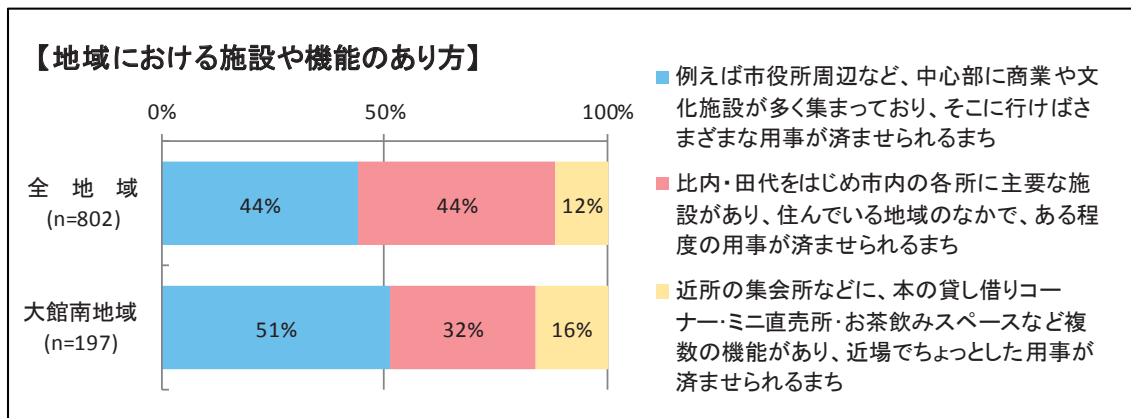
○市民アンケートのうち、全体の約24%が大館南地域（上川沿・十二所）に居住している方の回答となっています。市全体の結果と比較し、大館南地域の回答の一部をとりまとめます。

○大館南地域では、本市における総合的な暮らしやすさについて、「どちらともいえない」と回答した方の割合が約6割と最も多く、「満足」・「不満」がそれぞれ約2割と、市全体と類似した傾向となっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

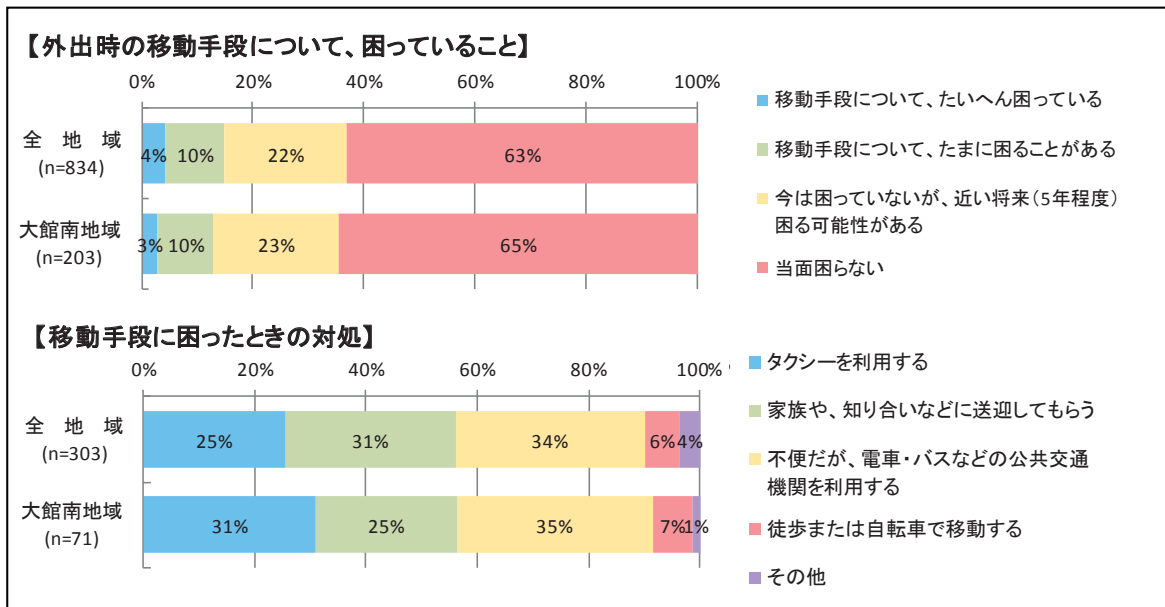
○地域における施設や機能のあり方について、「例えば市役所周辺等、中心部に商業や文化施設が多く集まっており、そこに行けばさまざまな用事が済ませられるまち」を目指したいと回答する方の割合が約5割となり、市全体と比較してやや高くなっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

○外出時の移動手段に困ることについて、移動手段に「当面困らない」が最も多く、市全体と類似した傾向となっています。

○移動手段に困ったときは「公共交通機関を利用する」、「タクシーを利用する」という回答がそれぞれ約3割を占めています。市全体と比較して、「タクシーを利用する」と回答した人の割合がやや高くなっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。



写真 北部老人福祉総合エリア



**(2) まちづくりの課題と方針**

豊かな自然の中で生産されるネギや山の芋、枝豆、りんご、アスパラガス等の農作物のほか、中山地区では中山そば、中山なし等の地域を代表する特産品が生産されています。

市民ワークショップでは、さまざまな年代の人が温泉を活用して交流を図り、地域の魅力を広く発信しながら、元気に暮らし続ける地域にしたいという意見が挙げられました。

大滝温泉や、北部老人福祉総合エリアのさらなる利活用を図り、いつまでも健康で安心して暮らせるまちを目指して、人々の交流を促進する地域づくりを進める必要があります。

これらを踏まえ、将来像を「私たちのホームタウン！大館南の魅力を見つけて、世界に発信しよう」と掲げ、全体構想で定めた5つの柱のうち、地域に関連する4つの柱についてまちづくりに関する課題と方針をとりまとめます。

**<大館南地域が目指す姿の概要>**

現況・課題			
【土地利用】	【地域の力】	【資源】	【機能】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住や商業に関する環境づくりが求められる。</li> <li>・豊かな景観の保全が求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民による地域づくりのさらなる推進が期待される。</li> <li>・郊外部の集落における日常生活サービスの確保等が懸念。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品の活用が求められる。</li> <li>・歴史や温泉を活かした観光拠点の形成が求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健・医療・福祉の充実した安心居住エリアの形成が求められる。</li> </ul>

大館南地域  
将来像

**私たちのホームタウン！**

大館南の魅力を見つけて、世界に発信しよう

**まちづくりの方針**

1	土地利用がもっと充実する	居住環境や商業環境、ふるさとの風景である山地・農村景観を維持するため、計画的な土地利用を推進します。
2	もっと地域の力を活用する	訪れた人を地域住民自らがもてなし、地域の魅力を発信できるような環境づくりを推進します。
3	もっと資源をつなげる	歴史や温泉といった多様な資源を連携させ、回遊できる観光まちづくりを推進し、人々を呼び込む機会の向上を図ります。
4	もっと機能をつなげる	公共交通の利便性を確保しながら、北部老人福祉総合エリアを活用し、安心して暮らし続けることができる環境づくりを進めます。

## ＜4つの柱に基づくまちづくりの課題と方針＞

### 1 土地利用がもっと充実する

【課題】 居住環境や商業環境を維持するために、計画的な土地利用が求められます。

▶ 【方針】

- 国道103号沿いやJR花輪線の各駅周辺を中心に形成されている居住空間について、安心して暮らせる基盤整備を図ります。
- 国道103号沿道については、地域の野菜や果実を販売する直売施設が立地する商業環境を維持しつつ、計画的な土地利用を図ります。

【課題】 米代川沿いに広がる農地等、基盤産業を支える農用地の確保が求められます。

▶ 【方針】

- 農業の担い手を安定して確保し、付加価値が高く多角的な農業生産活動を推進するため、上川沿地区や浦山地区におけるほ場整備事業を進めます。

【課題】 ふるさとの風景である、優れた山地・農村景観の保全が求められます。

▶ 【方針】

- 優れた山地景観を守るため、森林が持つ防災機能や水源のかん養、生態系の保全等に配慮し、森林事業等と連携しながら、適正な管理・整備を図ります。
- 別所地区を代表とした美しい農村景観を維持するため、農業施策と連携しながら、これら農地の維持・保全を図ります。

### 2 もっと地域の力を活用する

【課題】 郊外部等の農林業を支える地域は、地域コミュニティの維持や生活機能の確保等が困難になることが懸念されます。

▶ 【方針】

- 農林業振興や景観・環境保全等の関係施策と連携するとともに、小さな拠点の形成について検討を進めます。

【課題】 居住空間と土砂災害危険区域が近接している箇所があり、対策が求められます。

▶ 【方針】

- 居住空間と土砂災害危険区域が近接している箇所については、秋田県が行う土砂災害対策に基づき、危険箇所の周知に努め、安全な地域づくりを推進します。

【課題】ふるさとキャリア教育や市民ワークショップを通して、地域づくりについて考える気運が高まり、これらの取り組みを継続・活性化することが求められます。

▶ 【方針】

- ふるさとキャリア教育や地域応援プランによる地域づくりを継続し、子どもから高齢者まで、あらゆる年代・立場の人々の交流を推進します。
- まち歩き等を通して、歴史や温泉といった資源が持つ魅力を発見・発信し、さらなる賑わいを創出できるような地域づくりを推進します。
- 葛原自治会による老犬神社周辺の環境整備等、地域応援プランを活用した地域住民の取り組みをさらに推進します。

### 3 もっと資源をつなげる

【課題】大滝温泉や北鹿ハリストス正教会聖堂、鮎釣り等、多様な観光レクリエーション資源を活用した観光交流拠点の形成が求められます。

▶ 【方針】

- 伝統ある温泉町の大滝温泉は、周辺に立地する公共施設との連携を図りながら、さらなる活性化を目指します。
- 地域を代表するイベントとして、大滝温泉を含めたONSEN・ガストロノミーツーリズムを開催し、名所旧跡等を積極的にPRして他地域との交流を深めます。

【課題】野菜や果物等、地域の農産物を活用し、回遊できる観光の企画が求められます。

▶ 【方針】

- 引き続き農産物の品質を確保し、首都圏イベント等における物販やPRを行い、地域へ人を呼び込む機会づくりを推進します。
- ガストロノミーウォーキングと温泉宿への宿泊、体験型観光と民泊等、来訪者が回遊できる事業の展開を図ります。

【課題】美しい山地景観や河川環境等、身近な自然環境を後世へ残していくことが求められます。

▶ 【方針】

- 三哲山や鞍掛山等、豊かな山地景観の維持・保全を図ります。
- 根下戸地区米代川河川緑地について、根下戸米代川公園管理組合との協働で、地元の町内会が中心となった維持管理を進めます。

#### 4 もっと機能をつなげる

【課題】既存の施設、機能を活かしながら、安心して暮らせる居住エリアを形成することが求められます。

##### 【方針】

- 北部老人福祉総合エリアを中心に、保健・医療・福祉の充実した安心居住エリアを目指し、歩きやすい歩行空間の確保や歩車道の段差解消等を進めるとともに、ベンチの設置による休憩空間の創出等、人にやさしい道路整備を図ります。
- 北部老人福祉総合エリアは、県北地域の福祉の中核を形成していることから、地域の医療機関等との連携を強化しながら、親子で楽しめる環境整備等、さらなる機能の充実を進めます。

【課題】市民ワークショップでは、利便性の高い公共交通機関の確保、買い物バスや送迎バス等、路線バス以外の交通手段に関する意見が挙げられています。

##### 【方針】

- 地域のニーズ・需要に見合った多様な運行形態による交通手段を検討し、誰もが安心して外出できる環境を整備します。
- 商業施設や病院と連携したバス運行やスクールバスの活用、学校と連携した利用促進策の実施等、産学官が連携した交通サービスの提供や公共交通利用促進策等に向けて取り組みます。



写真 農業体験の様子

# 大館南地域のまちづくり方針

## 1 土地利用がもっと充実する

居住環境や商業環境、ふるさとの風景である山地・農村景観を維持するため、計画的な土地利用を推進します。

## 3 もっと資源をつなげる

歴史や温泉といった多様な資源を連携させ、回遊できる観光まちづくりを推進し、人々を呼び込む機会の向上を図ります。

## 2 もっと地域の力を活用する

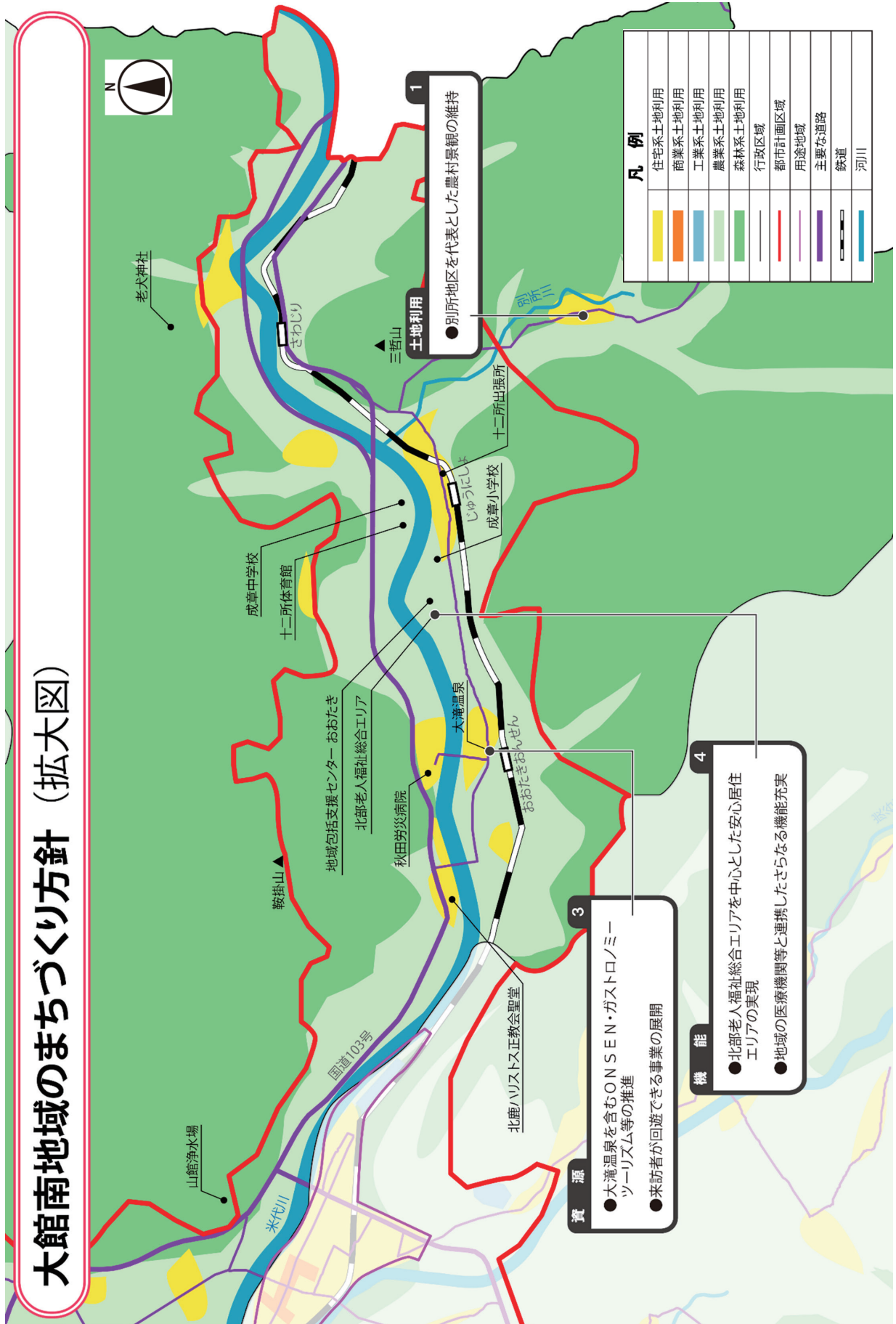
訪れた人を地域住民自らがもてなし、地域の魅力を発信できるような環境づくりを推進します。

## 4 もっと機能をつなげる

公共交通の利便性を確保しながら、北部老人福祉総合エリアを活用し、安心して暮らし続けることができる環境づくりを進めます。



# 大館南地域のまちづくり方針（拡大図）



## コラム ～未来の日常をイメージしよう～

高齢者福祉サービスの拠点である北部老人福祉総合エリアが立地し、温泉や文化財、農産物等の魅力を活かした観光まちづくりを推進する大館南地域では、10年後にどのような暮らしをしているのでしょうか？

市民ワークショップで得られた意見を踏まえながら考えてみましょう。

- ・住民と一緒にできるサロン等、これからは人が集まる場づくりが必要！
- ・歴史資源や観光、食べ物等、豊かな資源を連携して活かしていきたい
- ・それぞれの世代に合わせて、みんなが楽しめる取り組みを進めていきたい

「**北部老人福祉総合エリアを拠点にしたにぎわいづくり**」が  
実現できた未来における日常を、具体的にイメージします。

### ○北部老人福祉総合エリアを活用！

- ・北部老人福祉総合エリアは気軽に集える場として活用され、住民による地域づくりや取り組みについて情報交換するきっかけとなっている。その中から、自らサロンづくりを始めてみる等、自分にできることを見つけて実現するための仕組みが確立している。
- ・お互いに新たな視点や元気をもらえる場として、世代間交流事業の取り組みがさらに活発になっている。

### ○地域の魅力を広く発信！

- ・温泉や農産物についてY o u T u b e等で発信し、地域のPRを進めている。各地の催しに出店した陽気な母さんの店は常に賑わい、講演会も広く行われている。
- ・歴史を学んだ子どもたちによる観光ツアーが開催され、地域の魅力をわかりやすく伝えるための機会が多くなっている。

### ○充実したライフスタイルの確立！

- ・公共交通が充実し、電車・バスの利用者が増加している。仕事を早く終えて飲みに行き、最終バスで帰宅するような、活力あふれる働き方ができている。
- ・送迎バスやコミュニティバスを利用し、自由に買い物等の外出を楽しむことができる。

### ○住民参加による地域活性化！

- ・町内会による取り組みが進められ、地域応援プランがますます活用されている。
- ・根下戸米代川公園管理組合により、根下戸地区米代川河川緑地の環境整備やパトロールが日々行われており、人々が安心して利用できる憩いの場づくりが進められている。
- ・隣接する比内地域とともに喫茶店や情報スペースを活用し、情報交換を行いながら、一体となった地域づくりが進められている。

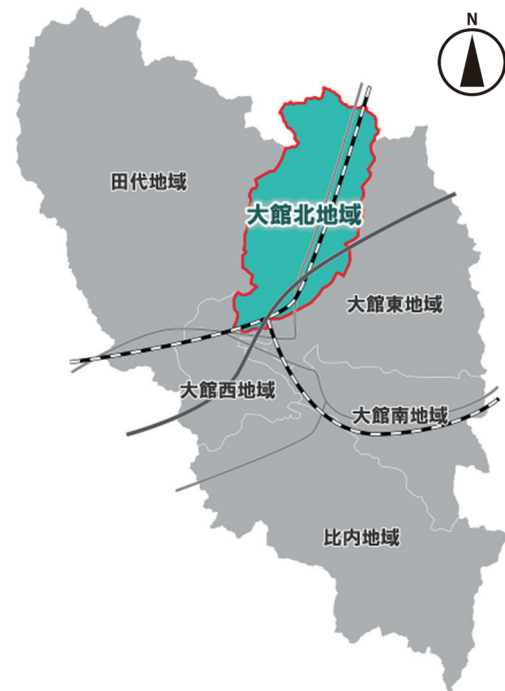
### ○地域の宝物がさらに輝く！

- ・大滝温泉を拠点に、地域の食や歴史資源を巡るONS EN・ガストロノミーツアーリズムが開催され、市内外からの参加者で賑わっている。
- ・子どもたちは、地元の企業や地域資源を活かした仕事について学ぶ機会があり、地域で働いて楽しく暮らすイメージを持っている。

## 5-4 大館北地域

### (1) 地域の現況

地域の概要	
面積	104.60km <sup>2</sup> 市全体の11%
人口	11,168人、市全体の15% ※2015(平成27)年国勢調査
世帯数	4,063世帯、市全体の14% ※2015(平成27)年国勢調査
15年間の人口増減	2,485人の減少(18%減) 2000(平成12)年13,653人から 2015(平成27)年11,168人へ ※国勢調査



地域を代表する主な施設等	
施設等	大館郷土博物館、釈迦内体育館、花岡体育館、花岡総合スポーツ公園、花矢図書館、鳥潟会館、釈迦内出張所、花岡出張所、矢立出張所、地域包括支援センター神山荘、道の駅やたて峠
駅	白沢駅、陣場駅(JR奥羽本線)
医療施設	—
学校	釈迦内小学校、花岡小学校、矢立小学校、北陽中学校、国際情報学院中学校・高等学校
工業団地	釈迦内産業団地、花岡工業団地、花岡第二工業団地
公園緑地	十瀬野公園墓地、大館記念公園、高館公園
景観	長走風穴高山植物群落、芝谷地湿原植物群落、秋田杉天然林、矢立峠、男神山、女神山、城ヶ森、獅子ヶ森、大山

大館北地域は、市北部に位置し、北側が青森県に隣接する地域です。面積は104.60km<sup>2</sup>で、市全体の11%を占めています。

北部から南部には一級河川米代川の支流である下内川が流れ、粕田川・大森川・花岡川等が流れています。東西を山地に囲まれ、北部は谷状の地形となっており、南部の平地は住宅地や農用地として利用されています。平地の一部は用途地域に指定され、大館東地域と連続した市街地を形成しています。

大館北ICの利便性を活かした産業の振興が推進されており、秋田杉天然林等の豊かな自然環境は県を代表する資源となっています。

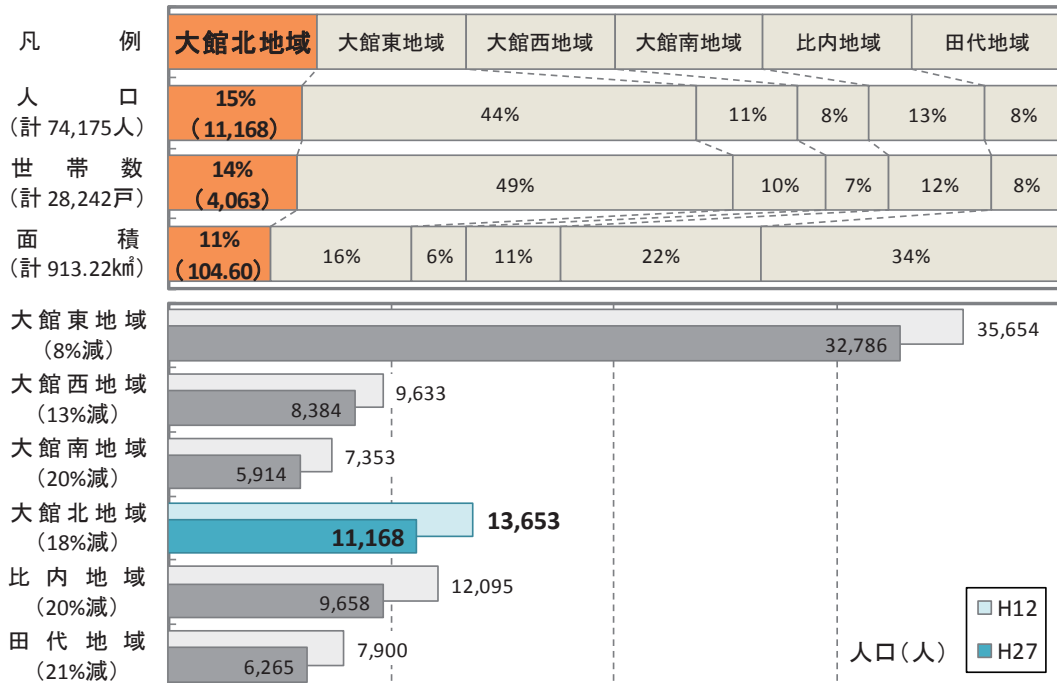


【土地利用】

- 東西・北部の山地部は森林で、南部や北部の谷間の平地部が宅地や農用地として利用されています。
- 南部は大館東地域と連続した市街地を形成し、用途地域に指定されています。
- 南西部は鉱山開発の歴史があり、鉱山関連の土地が工業団地や宅地に転用されたことから、ある程度のまとまった宅地を形成しています。
- 工業団地として、釈迦内産業団地、花岡・花岡第二工業団地が形成されています。

【人口・世帯】

- 人口 11,168 人で本市の 15%、世帯数 4,063 世帯で本市の 14%を占めており、大館東地域に次ぐ、第二位の人口・世帯規模となっています。1 世帯当たりの人員は、2.7 人となっています。
- 2000（平成 12）年からの人口減少率は約 18%であり、約 2,500 人減少しています。



資料：人口・世帯…2000（平成 12）年、2015（平成 27）年 国勢調査  
面積…2014（平成 26）年 10 月 1 日 GIS・国土の情報（全国都道府県市区町村の面積）  
※端数の処理により、見かけ上の合計が 100%とならない場合があります。

【文化・風景・特産物】

- 長走風穴高山植物群落や芝谷地湿原植物群落等が国の天然記念物として指定され、矢立廃寺跡の県指定史跡が立地しています。
- 男神山、女神山、城ヶ森、獅子ヶ森、大山等の優れた山地景観があり、身近な風景のシンボルとして地域住民に親しまれています。

【観光レクリエーション】

- 日景温泉や矢立ハイツ等の温泉保養施設、道の駅やたて峠が北端部に立地しています。
- 明治初期にイギリスの旅行家イザベラ・バードが通過した記録が残る矢立峠について、遊歩道を整備し、資源の保全・活用を行っています。

- 長走風穴高山植物群落や芝谷地湿原植物群落、秋田杉天然林等が、国道7号沿いに分布し、アクセスのしやすい自然観光資源となっています。
- 地域の著名人の生家で、京風の情緒豊かな庭園を有する県指定文化財鳥潟会館が観光資源となっています。
- 花岡球場や花岡・釈迦内体育館等は、地域住民のレクリエーション活動の場として利用されています。

### 【主要公共施設】

- 中央部西側に市営住宅が集積するほか、国際情報学院中学校・高等学校、花岡総合スポーツ公園、高齢者福祉施設も集積しています。
- 中央部西側には花岡事件の慰霊碑がある十瀬野公園墓地があります。
- 南西部にし尿処理場や粗大ごみ処理場が配置されているほか、大館東地域に隣接して大館市公設総合地方卸市場が立地しています。
- 犬都記念公園は、緑に囲まれ広々とした環境でドッグランとして利用されています。
- 釈迦内PAでは、市内観光地を巡るツアー及び周遊バスによる社会実験が行われる等、交流人口拡大に向けた取り組みが行われています。

### 【交通基盤】

- JR奥羽本線が国道7号と並走しており、白沢駅、陣場駅の2つの駅が立地しています。
- 秋田県の主要幹線道路でもある国道7号が縦断しています。大館北地域と田代地域とを結ぶ(主)白沢田代線、花岡地区と白沢地区を結ぶ釈迦内花岡白沢線が幹線道路となっています。
- 日本海沿岸東北自動車道が整備され、大館北ICが供用し、高速交通の確保、周辺の利便性向上等の効果が期待されています。
- 大館北ICの供用や釈迦内地区における道路拡幅等の整備により、国道7号の交通機能が強化されつつあります。
- 老朽化が進行していた国道7号の白沢跨線橋の架け替えを実施しています。
- 日景温泉とつながる日景橋の補修が完了し、(市)日景線の舗装補修を実施しています。
- 花岡地区の都市計画道路は、整備率が低くなっています。

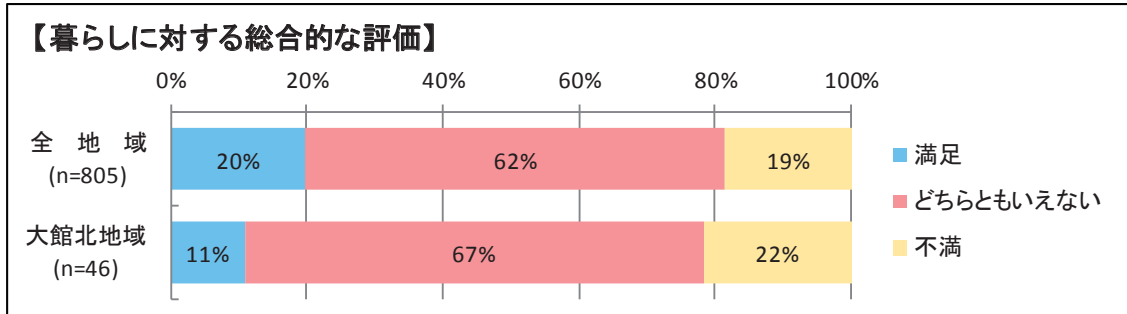
### 【まちづくり活動】

- 釈迦内・花岡・矢立小学校、北陽中学校では、ふるさとキャリア教育の一環として、ひまわり活動やクリーンアップ、地域との防災活動・行事等の取り組みを行っています。
- 釈迦内サンフラワープロジェクトにより、地域の学校や企業、農家等が協力してひまわりの地域ブランド化が進められ、ひまわりフェスティバルや加工品の販売等が行われています。

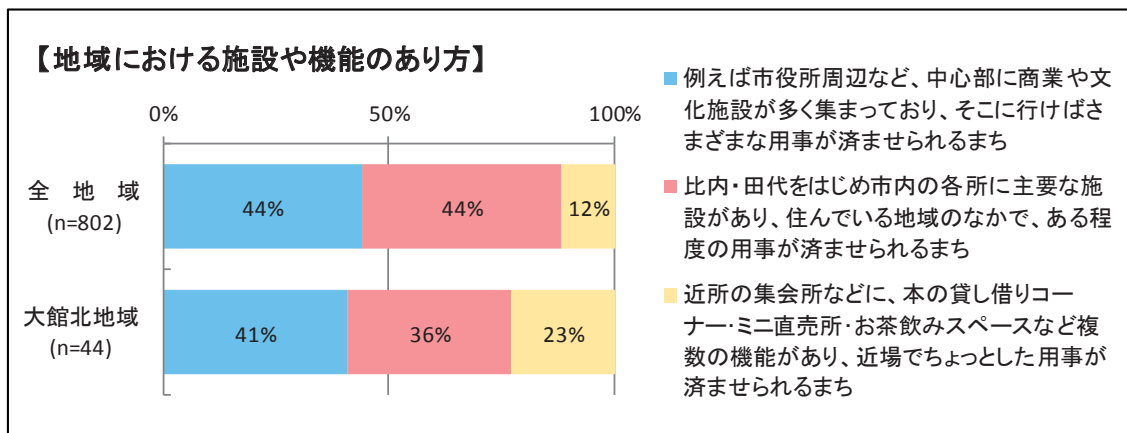
### 【市民アンケート】

○市民アンケートのうち、全体の約6%が大館北地域（釈迦内・花岡・矢立）に居住している方の回答となっています。市全体の結果と比較し、大館北地域の回答の一部をとりまとめます。

○大館北地域では、本市における総合的な暮らしやすさについて、「どちらともいえない」と回答した方の割合が最も多くなっています。「満足」と回答した方の割合は約1割で、市全体と比較して10%程度低く、満足度が低い傾向にあります。

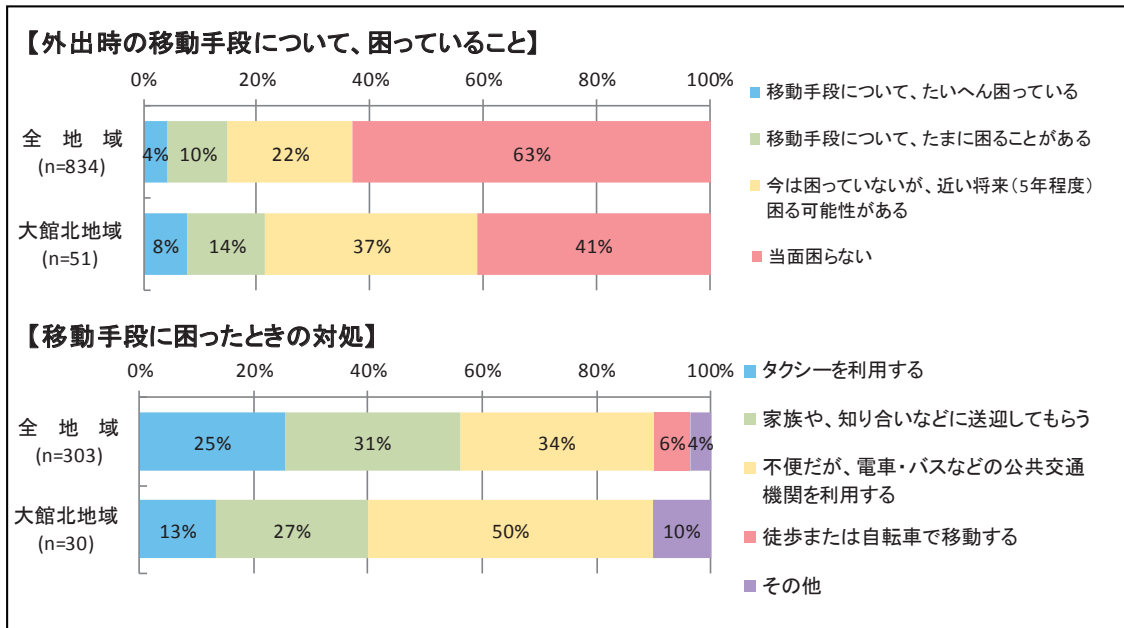


○地域における施設や機能のあり方について、「近所の集会所等に、本の貸し借りコーナー・ミニ直売所・お茶飲みスペース等、複数の機能があり、近場でちょっとした用事が済ませられるまち」を目指したいと回答する方の割合が約2割と、市全体と比較して高いことが特徴となっています。



○外出時の移動手段に困ることについて「近い将来（5年程度）困る可能性がある」と回答した方の割合が約4割と、市全体と比較して高く、生活する上で移動手段に不安を感じている方が多い傾向にあります。「当面困らない」と回答した方の割合は、市全体よりも20%程度低く、他の地域と比較して最も低くなっています。

○移動手段に困ったときは「公共交通機関を利用する」という回答が5割を占め、市全体と比較して高くなっています。また、「徒歩または自転車で移動する」という回答は0%となっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。



写真 釈迦内サンフラワープロジェクト

## (2) まちづくりの課題と方針

矢立峠や長走風穴高山植物群落等、歴史ある自然が地域固有の景観を形成し、豊富な水と温泉、秋田杉天然林等といった貴重な資源が存在します。リサイクル産業や、地域をあげてのひまわり畑づくりも盛んとなっています。

市民ワークショップにおいては、さまざまな年代の市民が楽しく交流し、笑顔で生き活きと暮らせるまちにしたいという意見が挙げられました。

水と緑の資源を守り活かしながら、釈迦内サンフラワープロジェクトをはじめとするふるさとキャリア教育等を通じ、さまざまな年代の住民が気軽に集い、交流する場づくりが必要となっています。

これらを踏まえ、将来像を「多世代が気軽に交流できる住みよいまち 大館北地域」と掲げ、全体構想で定めた5つの柱のうち、地域に関連する4つの柱についてまちづくりに関する課題と方針をとりまとめます。

### <大館北地域が目指す姿の概要>

現況・課題			
【土地利用】	【地域の力】	【資源】	【機能】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・北の玄関口としての役割が求められる。</li> <li>・産業の振興が求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郊外部の集落における日常生活サービスの確保等が懸念。</li> <li>・住まいが土砂災害危険区域に近接。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史に育まれた自然の保全と活用が求められる。</li> <li>・観光拠点の形成が求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセス性の向上が求められる。</li> <li>・都市計画道路の整備率の向上が求められる。</li> </ul>

### 大館北地域 将来像

## 多世代が気軽に交流できる住みよいまち 大館北地域

### まちづくりの方針

1	土地利用がもっと充実する	計画的な土地利用を推進し、立地等を活かした産業や流通機能の振興・充実を図ります。
2	もっと地域の力を活用する	ふるさとキャリア教育の取り組みを広げながら、郊外部を含む地域全体において、安心して暮らし続けるための地域づくりを推進します。
3	もっと資源をつなげる	歴史に育まれた豊かな自然を保全しながら、多様な歴史・観光資源と連携を図り、観光拠点の形成を目指します。
4	もっと機能をつなげる	公共交通の利便性をさらに高め、交通機能の強化によるアクセス性の向上を図りながら、都市計画道路の見直し・評価を行います。

## <4つの柱に基づくまちづくりの課題と方針>

### 1 土地利用がもっと充実する

【課題】青森県との県境である本地域は、北の玄関口としての役割が求められます。

▶ 【方針】

○北部に立地する道の駅やたて峠周辺では、温泉保養施設や秋田杉天然林等の豊かな自然を活かし、北の玄関口として交流拠点の形成を図ります。

【課題】他計画等と連携した計画的な土地利用が求められます。

▶ 【方針】

○釈迦内地区には、大館市公設総合地方卸売市場、企業の配送センター等が集積しており、本市及び周辺地域の卸売機能、物流機能を担っていることから、大館北ICを活用した流通商業地としての機能充実を図ります。

○大館駅北側の準工業地域について、立地適正化計画を踏まえ、立地している教育施設と調和する住宅系用途への変更に関する必要性を検討します。

【課題】産業団地の立地における利便性や、鉱山で栄えた歴史を活かし、本市における新たな産業の振興を牽引する役割が期待されます。

▶ 【方針】

○釈迦内産業団地は、大館北ICに近接している利便性を活かして物流拠点を目指すとともに、多様な産業の集積を図ります。

○花岡・花岡第二工業団地は、かつての鉱山技術を活用したリサイクル産業の拡大を推進します。

【課題】北部の谷間における平地部等、基盤産業を支える農用地の確保が求められます。

▶ 【方針】

○農業の担い手を確保し、効率的な農業生産活動を推進するため、下内川西地区におけるほ場整備事業を進めます。

### 2 もっと地域の力を活用する

【課題】郊外部等の農林業を支える地域は、地域コミュニティの維持や生活機能の確保等が困難になることが懸念されます。

▶ 【方針】

○農林業振興や景観・環境保全等の関係施策と連携するとともに、小さな拠点の形成について検討を進めます。

【課題】居住空間と土砂災害危険区域が近接している箇所があり、対策が求められます。

▶ 【方針】

○居住空間と土砂災害危険区域が近接している箇所については、秋田県が行う土砂災害対策に基づき、危険箇所の周知に努め、安全な地域づくりを推進します。

【課題】ふるさとキャリア教育や市民ワークショップを通して、地域づくりについて考える気運が高まり、これらの取り組みを継続・活性化することが求められます。

【方針】

- 釈迦内サンフラワープロジェクトをはじめとした、ふるさとキャリア教育や地域応援プランによる地域づくりを継続し、子どもから高齢者まで、あらゆる年代・立場の人々の交流を推進します。
- 住民同士で身近な相談や助け合いができ、知らない相手ともつながりを深められる、さまざまな世代が気軽に交流することができる場づくりを推進します。

### 3 もっと資源をつなげる

【課題】長走風穴高山植物群落や芝谷地湿原植物群落等、貴重な自然環境を後世へ残していくことが求められます。

【方針】

- 歴史に育まれた豊かな自然の保全を図りながら、他の歴史・観光資源等との連携を推進し、自然を楽しみ学べる観光拠点の形成を目指します。

【課題】矢立峠の秋田杉天然林は、明治初期に訪れたイギリスの旅行家イザベラ・バードが賞賛しており、この優れた山地景観の保全・活用が求められます。

【方針】

- 秋田杉天然林は、秋田県を代表するふるさと景観でもあることから、関係法令により今後とも保全を図ります。

【課題】広大な田園や豊かな農村資源は、将来の就業の場や、都市と農村の交流により交流人口の拡大が見込まれる場として期待されます。

【方針】

- 集落を取り囲む山林風景や河川沿いに広がる田園風景は貴重な資源となっており、市民の身近な原風景として、積極的な保全・活用方法を検討します。

### 4 もっと機能がつながる

【課題】周囲の山林からは中小の清流が流れており、良好な景観を維持・保全しながら、住みよい住環境の形成が求められます。

【方針】

- 生活排水処理施設等の普及により、豊かな水源や清流を保全し、水を大事にするまちづくりを推進します。
- 狭あい道路の解消、除雪対策等の促進を図り、快適な住環境の形成を目指します。

【課題】青森県との県境である本地域は、交通機能の強化によるアクセス性の向上が求められます。

【方針】

- 地域の産業振興や観光交流、生活の高速交通基盤となる日本海沿岸東北自動車道の利用を促進します。
- 主要な都市と連結する高速交通体系の構築や、大館北ICを活用した流通拠点の形成を図ります。
- 釈迦内PAは、広域防災やパーク＆ライドによる観光等、さまざまな拠点機能としての活用を検討します。
- 豊かな自然レクリエーション資源を有する田代地域とのアクセス強化を図ります。

【課題】花岡地区における都市計画道路の整備率の向上が求められます。

【方針】

- 長期にわたって整備が進んでいない都市計画道路については、必要性や事業実現性を評価し、継続・変更・廃止について計画の見直しを進めます。

【課題】市民アンケートでは、「移動に困ったときは公共交通機関を利用する」と回答した方の割合が5割となり、市全体（約3割）と比較して高くなっています。高齢化の進行に伴い、公共交通の利便性をさらに高めていくことが求められます。

【方針】

- 公共交通に関する情報を提供するツールを作成しホームページで発信する等、利用者への周知を推進し、公共交通機関にアクセスしやすい環境づくりを行います。
- 白沢駅や陣場駅等、交通結節点における機能の向上を図り、公共交通による移動の利便性を高めます。

【課題】市民ワークショップでは、冬季に安全に通行できる歩道や、コミュニティバスによる交通網の確保に関する意見が挙げられています。

【方針】

- 市街地における狭あい道路の解消や、歩行空間の確保を推進し、冬季でも安心して生活できる地域づくりを目指します。
- 今後、行政だけでは公共交通の維持・運営が困難と予想されることから、地域と行政が連携し、多様な主体による交通サービスの導入について検討します。



# 大館北地域のまちづくり方針

## 1 土地利用がもっと充実する

計画的な土地利用を推進し、立地等を活かした産業や流通機能の振興・充実を図ります。

## 2 もっと地域の力を活用する

ふるさとキャリア教育の取り組みを広げながら、郊外部を含む地域全体において、安心して暮らし続けるための地域づくりを推進します。

## 3 もっと資源をつなげる

歴史に育まれた豊かな自然を保全しながら、多様な歴史・観光資源と連携を図り、観光拠点の形成を目指します。

## 4 もっと機能をつなげる

公共交通の利便性をさらに高め、交通機能の強化によるアクセス性の向上を図りながら、都市計画道路の見直し・評価を行います。

## 資源

- 秋田杉天然林の保全と活用

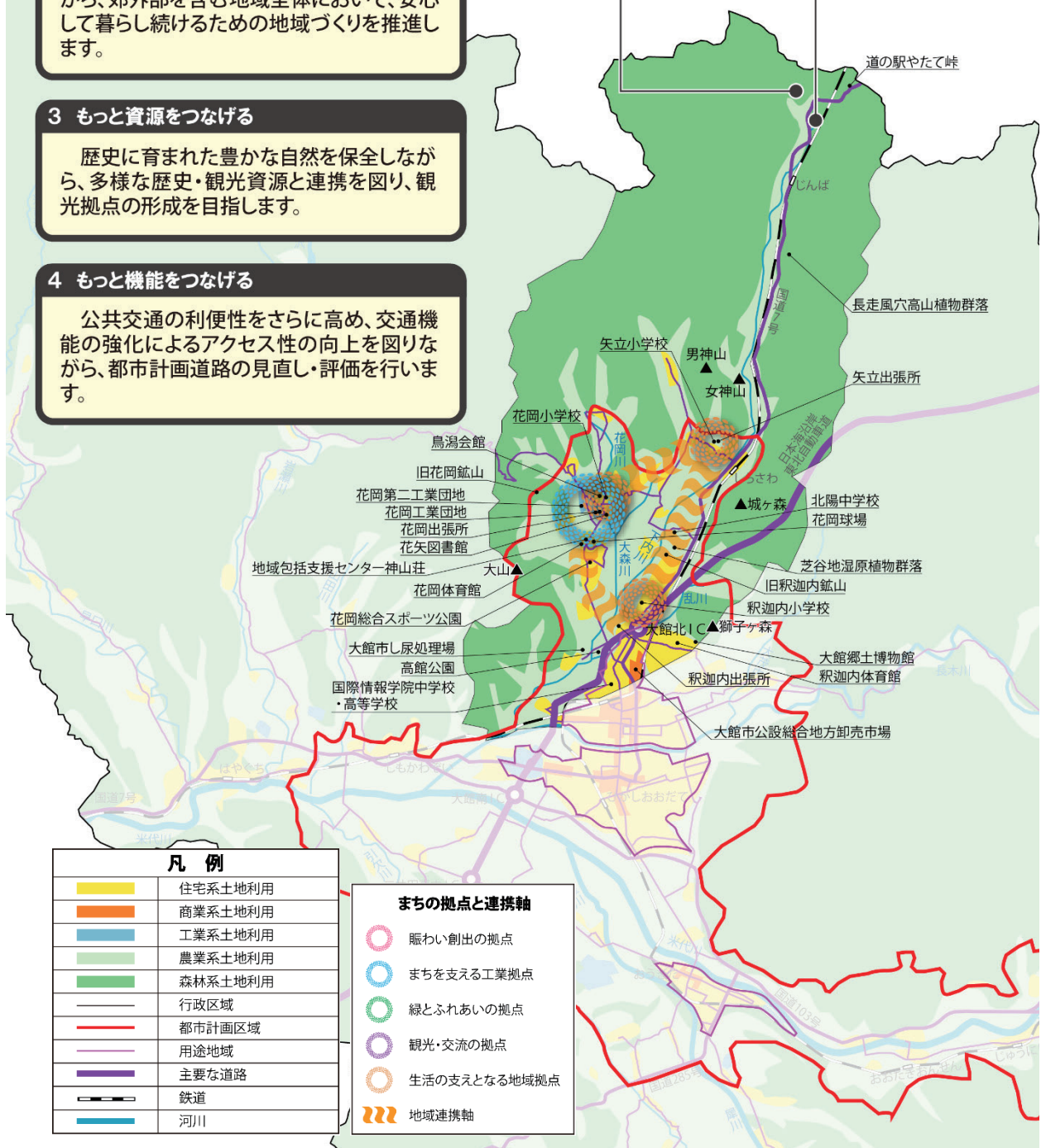
3



## 機能

- 豊かな自然を活かした交流拠点の形成

4



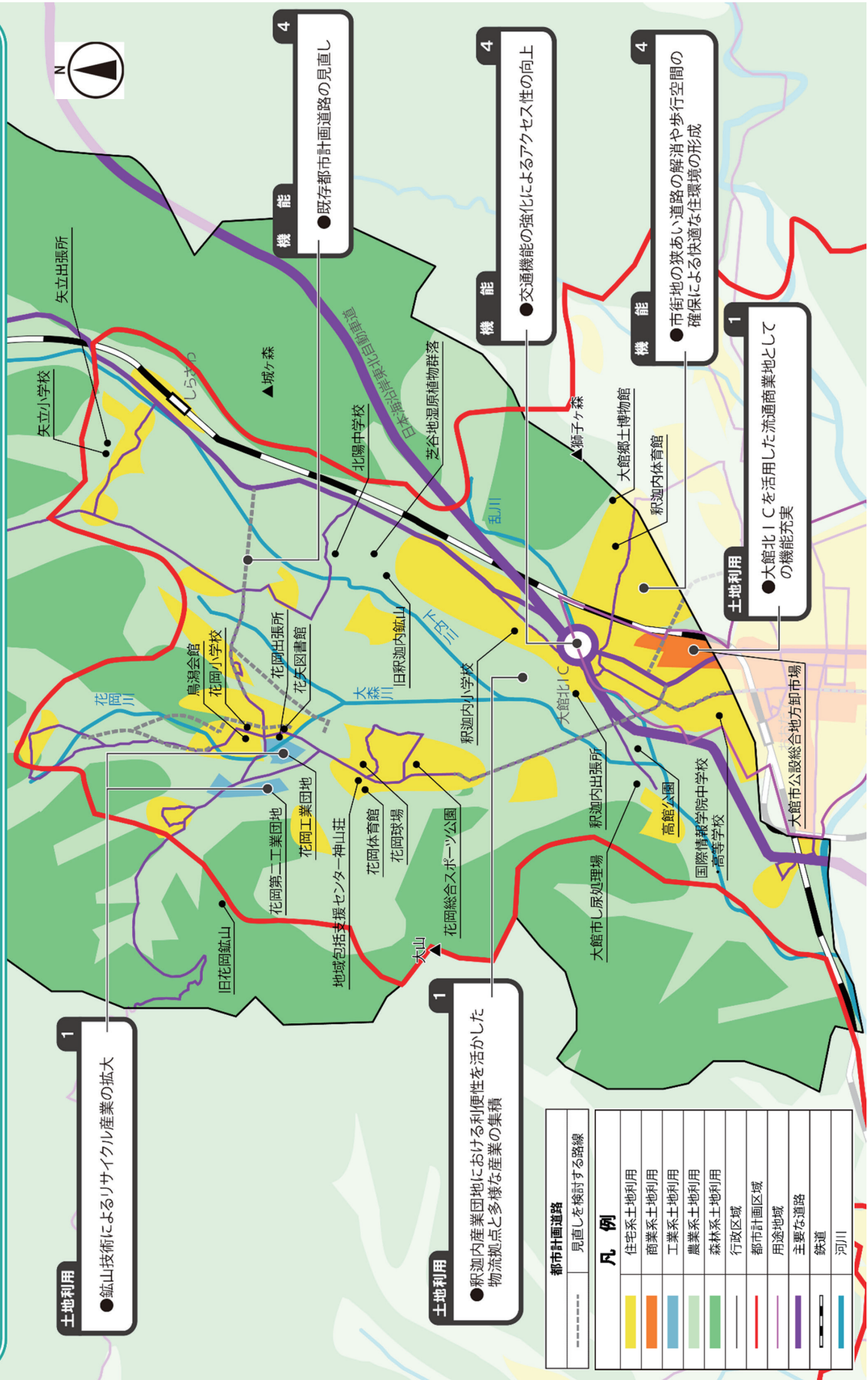
### 凡例

	住宅系土地利用
	商業系土地利用
	工業系土地利用
	農業系土地利用
	森林系土地利用
	行政区
	都市計画区域
	用途地域
	主要な道路
	鉄道
	河川

### まちの拠点と連携軸

- 賑わい創出の拠点
- まちを支える工業拠点
- 緑とふれあいの拠点
- 観光・交流の拠点
- 生活の支えとなる地域拠点
- 地域連携軸

# 大館北地域のまちづくり方針（拡大図）



## コラム ～未来の日常をイメージしよう～

歴史ある自然に恵まれ、ふるさとキャリア教育による釈迦内サンフラワープロジェクト等の取り組みが活発な大館北地域では、10年後にどのような暮らしをしているのでしょうか？  
市民ワークショップで得られた意見を踏まえながら考えてみましょう。

- ・地域の課題を自分たちで解決する意識があることが、地域づくりの前提！
- ・ひまわりでSNS映えを目指す等、資源を活用していきたい
- ・笑顔で生き活きと、気軽に住民同士が交流できる住みよい地域にしたい

「**地域通貨等の仕組みを通じ、知らない相手ともつながり合える地域づくり**」が  
実現できた未来における日常を、具体的にイメージします。

### ○住民同士の助け合いが充実！

- ・困り事や相談事を共有し、住民同士で助け合う仕組みがつくられており、安心して暮らせる地域として評判になっている。例えばパソコンを使うことが難しい人に代わって書類を作成したり、しばらく外出する際にペットの餌やりをお願いしたり、お互いに得意なことを補い合いながら生活できている。
- ・直接顔を合わせて話す場はもちろん、掲示板等、インターネットを活用した助け合いの場づくりも進められており、気軽に情報を共有することができる。
- ・冬季の除雪に悩んでいたが、ハチ公スノーレンジャーの取り組みがさらに広がり、一人暮らしのお年寄り等の大きな助けとなっている。

### ○ゆとりある暮らしの実現！

- ・きれいな水や温泉に癒やされ、自然の中を散歩し、庭づくりやサークル活動に参加するような、元気で生きがいを持つ暮らしが実現できている。
- ・地域を出なくてもやりたい仕事に就け、ワークライフバランスのとれた生活を目指し、一人ひとりが地域に根ざした働き方について意識している。

### ○ひまわりを活かした地域づくり！

- ・釈迦内サンフラワープロジェクトによる地域のブランド化が進められ、ひまわりフェスティバルは多くの人で賑わっている。取り組みは全国からも高く評価され、多くの媒体で紹介されることで、地域の知名度がさらに高まっている。
- ・プロジェクトに携わった子どもたちは、地域資源から特産品や仕事を生み出すことを学び、この経験を将来の就職や起業に活かすことができている。

### ○地域の宝物がさらに輝く！

- ・矢立峠を歩く歴史まち歩き、温泉や豊かな自然風景等を求めて、たくさんの人々が地域を訪れている。
- ・ふるさとキャリア教育の取り組みがさらに広がり、子どもも大人も地域づくりについて考え、困り事を解決するために力を合わせるという意識が高まっている。
- ・全国的に秋田犬の人気が高まる中、秋田犬に関連した催しが行われる等、犬都記念公園ドッグランが賑わいの場となっている。

## 5-5 比内地域

### (1) 地域の現況

地域の概要	
面積	205.32km <sup>2</sup> 市全体の22%
人口	9,658人、市全体の13% ※2015(平成27)年国勢調査
世帯数	3,263世帯、市全体の12% ※2015(平成27)年国勢調査
15年間の人口増減	2,437人の減少(20%減) 2000(平成12)年12,095人から 2015(平成27)年9,658人へ ※国勢調査



地域を代表する主な施設等	
施設等	比内総合支所、比内公民館、比内体育館、比内図書館、道の駅ひない、大日神社、扇田神明社、地域包括支援センターひない、ひない温泉「比内のゆ」、比内福祉保健総合センター・ハートヒルとっと、比内地鶏糞処理施設
駅	扇田駅(JR花輪線)
医療施設	市立扇田病院
学校	扇田小学校、西館小学校、東館小学校、比内中学校、県立比内支援学校
工業団地	新館工業団地、小森山ミニ工業団地
公園緑地	達子森公園、ベニヤマ自然パーク、扇田地区米代川河川緑地、扇田ふれあい公園
景観	達子森、長者森、竜ヶ森

比内地域は、市南東部に位置し、南西側が北秋田市、東側が鹿角市に隣接する地域です。面積は205.32km<sup>2</sup>で、市全体の22%を占めています。

地域の北側には一級河川米代川が流れ、その支流である犀川が合流し、一部が用途地域に指定されています。南部は森吉山に続く広い山地に覆われて、東から西に向かって緩やかな傾斜となっています。

北部から南東部の犀川沿いに広がる平地が住宅地や農用地として利用されており、市街地には、医療施設や高齢者福祉施設、体育施設、道の駅ひない等の都市機能が充実しています。

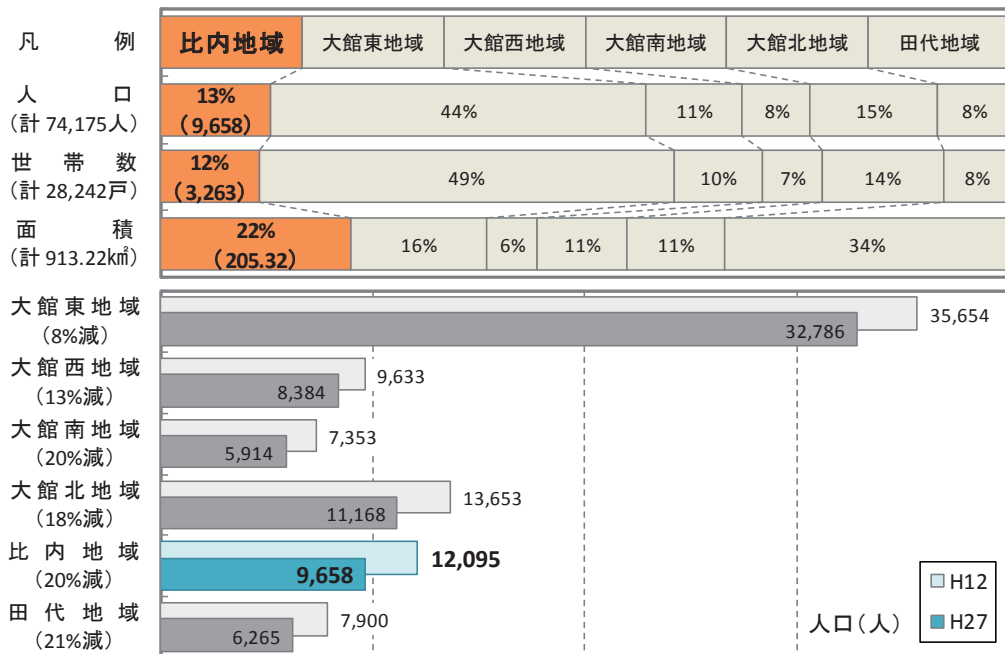
比内地鶏等の農産物や特産物は、全国に魅力を発信できる比内ブランドとして確立されています。

【土地利用】

- (主)比内田代線沿いに商店街が形成されており、地域の中心商業地となっています。古くは舟運の船着場として栄えていました。
- 中心商業地を取り巻くようにまとまった住宅地を形成しています。また、近年では市街地東部での住宅の新築が進行しています。
- 用途地域の南側に新館工業団地と小森山ミニ工業団地が立地しています。また、市街地東部の準工業地域は、利用可能な用地がある状況となっています。
- 農用地は南東部の犀川沿いに分布しており、稲作を中心に、野菜、ホップや葉たばこ等の栽培と比内地鶏等の飼育が行われています。

【人口・世帯】

- 人口 9,658 人で本市の 13%、世帯数 3,263 世帯で本市の 12%を占めており、1 世帯当たりの人員は 3.0 人となっています。
- 2000（平成 12）年からの人口減少率は約 20%であり、約 2,400 人減少しています。



資料：人口・世帯…2000（平成 12）年、2015（平成 27）年 国勢調査  
面積…2014（平成 26）年 10 月 1 日 GIS・国土の情報（全国都道府市区町村の面積）  
※端数の処理により、見かけ上の合計が 100%とならない場合があります。

【文化・風景・特産物】

- 旧比内町についてとりまとめた「比内の歴史」の発刊、大葛金山墓地の刈払い、西木戸神社のリーフレット作成・配布等、歴史的資源の活用と保存を進めています。
- 大日神社や扇田神明社、奥州藤原氏四代泰衡の妻をまつる西木戸神社等の歴史資源が存在し、歴まち散歩の実施やQRコード付き標柱の設置等、歴史を活かし、伝えるための取り組みを進めています。
- ひない盆まつり（灯籠流し・扇田盆踊り）、中野七夕、大日神社や扇田神明社の例祭等の伝統行事、多くの観光客を集める比内とりの市、ひない商人（あきんど）祭り等が行われています。

- 達子森や竜ヶ森、長者森は地域固有の景観を形成しており、達子森ではトイレや水飲み場等の管理、散策道の草刈りが実施され、身近な緑として親しまれています。
- 比内地鶏、G I（地理的表示）を取得した大館とんぶり、しいたけ、葉たばこ等、自然の恵みによって昔から発展してきた農業は、全国に魅力を発信できる比内ブランドとして確立しています。
- 希少な天然石である十和田石は、やすらぎの青を持つ環境石材としてさまざまな場面で活用されています。

### 【観光レクリエーション】

- 道の駅ひない、ひない温泉「比内のゆ」、南東部に位置する大葛温泉、大館カントリークラブ等が立地しています。
- 道の駅ひないは、地域の特産品販売を行う等、地域の交流拠点にもなっています。
- 比内地鶏グルメマップの作成や地域のイベント支援、来街者休憩スペース「ほっとひと駅」の運営支援等を通じて、商店街の活性化を図っています。
- 達子森公園やベニヤマ自然パーク、扇田地区米代川河川緑地等は、地域住民のレクリエーションの場として親しまれています。
- ペットと泊まれる宿泊施設として、ベニヤマ自然パークコテージが整備されています。

### 【主要公共施設】

- 北部の市街地に、医療施設や高齢者福祉施設、体育施設、道の駅ひない等の交流拠点が集積しています。
- 比内地鶏の鶏糞をたい肥化する大館市比内地鶏鶏糞処理施設が立地しています。

### 【交通基盤】

- J R花輪線が北部を横断し、扇田駅が立地しています。
- 秋田市と鹿角市をつなぐ国道 285 号が地域を横断し、主要幹線道路となっています。
- （主）比内大葛鹿角線が国道 285 号と南東地区・鹿角市と連結し、（一）比内森吉線が北秋田市とを結んでいます。また、北部の市街地を通過する（主）比内田代線が幹線道路となっています。
- 国道 285 号と二井田地区工業団地をつなぐアクセス道路が整備され、工業団地の有効活用が図られています。
- 扇田地区の都市計画道路は、整備率が低くなっています。

### 【まちづくり活動】

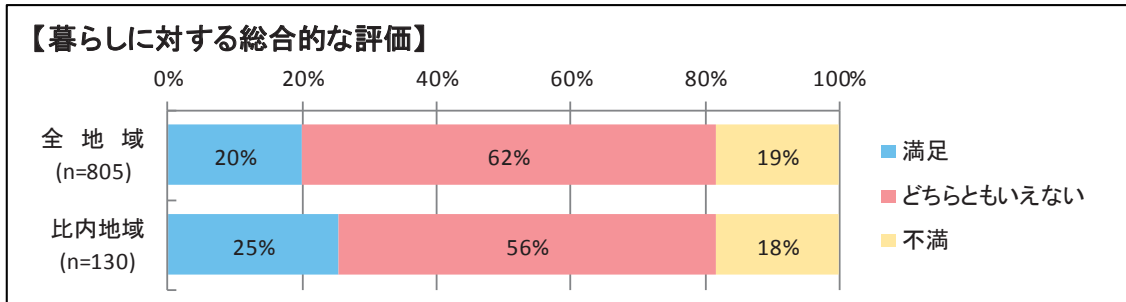
- 扇田・西館・東館小学校、比内中学校では、ふるさとキャリア教育の一環として、とんぶり栽培等の農業・職業体験、ふるさと集会や地域伝統芸能継承等の活動を行っています。
- 市民ワークショップでは、比内地域の暮らしやすさや豊かな農産物を活かしながら、市民が気軽に話せる場や、情報交換の機会を創出しようといった意見が出されています。
- 大葛地区の住民自らが地域の将来を考えるために設立された「大葛の将来を考える会」は、大葛温泉まつり等、地域を活気づけるため、自然や史跡等、地域資源を活用した

事業を行っています。

### 【市民アンケート】

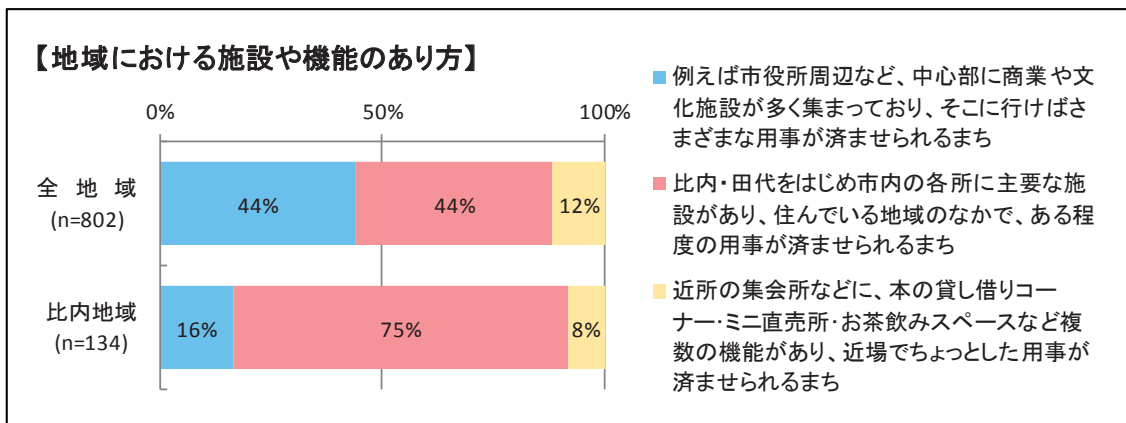
○市民アンケートのうち、全体の約16%が比内地域（扇田・西館・東館・大葛地区）に居住している方の回答となっています。市全体の結果と比較し、比内地域の回答の一部をとりまとめます。

○比内地域では、総合的な暮らしやすさに「満足」と回答する割合がやや高く、市内でも生活しやすい地域であることが分かります。「不満」と回答した割合は約2割で、市全体と類似した傾向となっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

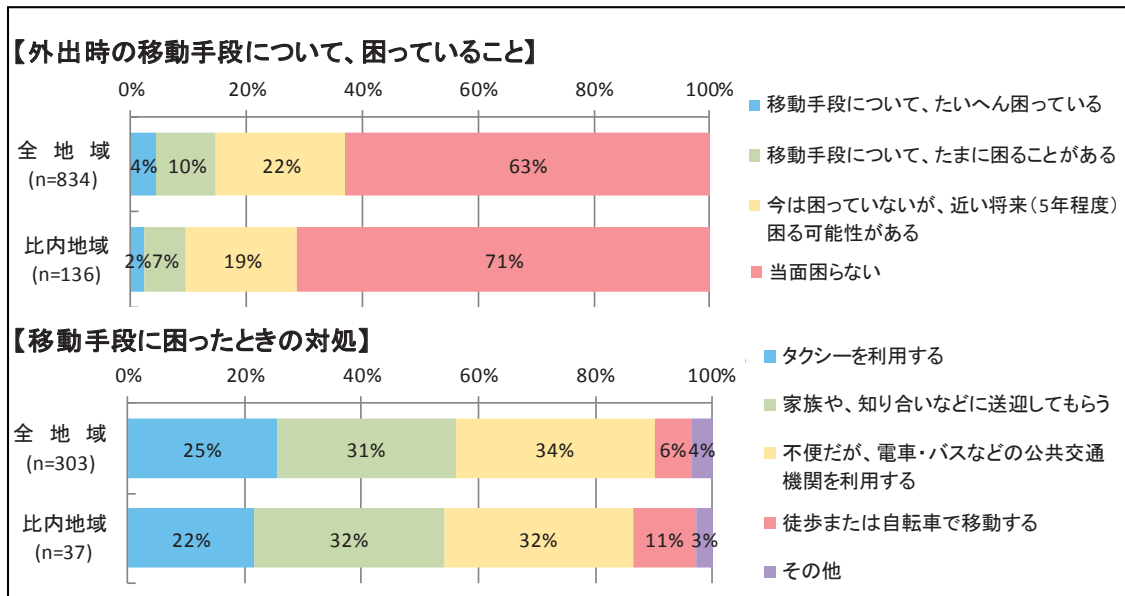
○地域における施設や機能のあり方について、「比内・田代をはじめ市内の各所に主要な施設があり、住んでいる地域のなかで、ある程度の用事が済ませられるまち」を目標したいと回答する方の割合が7割以上となり、市全体と比較して高くなっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

○外出時の移動手段に困ることについて、市全体と比較して「当面困らない」と回答した方の割合が、10%程度高くなっています。

○移動手段に困ったときは「家族や知り合いの送迎」・「公共交通機関を利用する」という回答がそれぞれ約3割で、市全体と類似した傾向となっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。



写真 ひない商人まつり



## (2) まちづくりの課題と方針

比内地鶏や大館とんぶり、しいたけ、葉たばこ等、大きな魅力を発信できる比内ブランドが確立されています。生活を支える商店街にはさまざまな店舗が立地し都市機能が充実しており、市民アンケートにおける暮らしやすさの評価も高い地域です。その一方、人口減少が進行する中で地域の活力を維持し続けることが課題となっています。

市民ワークショップでは、都市機能や資源が充実している特長を活かしながら、いつまでも比内地域に暮らし続けるために、人と人との交流をより活発に広げていきたいという意見が挙げられました。

このため、既存の施設や機能を有効活用し、豊かな資源をさらに発展させながら、交流の場づくりを進めていく必要があります。

これらを踏まえ、将来像を「確立したブランドと共に！ちょうどよく暮らし、人とつながるまち 比内」と掲げ、全体構想で定めた5つの柱のうち、地域に関連する4つの柱についてまちづくりに関する課題と方針をとりまとめます。

### <比内地域が目指す姿の概要>

現況・課題			
【土地利用】	【地域の力】	【資源】	【機能】
<ul style="list-style-type: none"> <li>都市機能が充実。</li> <li>人口減少による活力低下が懸念。</li> <li>用途地域内の宅地化が進む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事に参加する若者が減少。</li> <li>郊外部の集落における日常生活サービスの確保等が懸念。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>恵まれた資源を活かした比内ブランドが確立。</li> <li>交流人口の拡大が期待される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通へアクセスしやすい環境が求められる。</li> <li>都市計画道路の整備率の向上が求められる。</li> </ul>

### 比内地域 将来像

確立したブランドと共に！  
ちょうどよく暮らし、人とつながるまち 比内

### まちづくりの方針

1	土地利用がもっと充実する	市街地の利便性を活かし、用途地域内の空き地を有効に利用することで、良好な住環境の整備を促進し、商業地における賑わいの維持・活性化を図ります。
2	もっと地域の力を活用する	行事やイベントを通して地域内外の交流を深めながら、住民主体の魅力ある地域づくりを推進します。
3	もっと資源をつなげる	歴史資源や自然環境の保全・活用を進めながら、比内ブランドであるさまざまな産業を推進し、比内地域の魅力を広く発信していきます。
4	もっと機能をつなげる	主要な公共交通を確保することで、都市機能へのアクセスを維持するとともに、都市計画道路の見直し・評価を行います。

## ＜4つの柱に基づくまちづくりの課題と方針＞

### 1 土地利用がもっと充実する

【課題】扇田地区の市街地はまとまって形成され、日常的な買い物の利便性は確保されているものの、将来的な人口減少による活力の低下が懸念されます。

#### 【方針】

- 扇田地区の市街地については、商業振興策と連携しながら、住民が主体となった地域活動、まちなかの魅力回復や既存の都市基盤の活用により、賑わいある商業地として維持・活性化を図ります。
- まちなか居住に向け、狭あい道路の解消、除雪対策の促進、公共公益機能の確保等、高齢化社会に対応した基盤整備を推進します。

【課題】用途地域内の宅地化に合わせて、今後も計画的な住環境整備が求められます。

#### 【方針】

- 用途地域内における空き地は、有効利用を促進するとともに、商店等に近く暮らしやすいという利便性を活かした良好な住環境整備と商業地の維持・活性化を図ります。

【課題】小森山ミニ工業団地や新館工業団地、用途地域東側に位置する準工業地域等、雇用を支える工業団地としてさらなる活用が求められます。

#### 【方針】

- 完売した小森山ミニ工業団地に続き、1区画（1ha）が分譲中となっている新館工業団地への誘致を図ります。
- 準工業地域である中山川原地区について、土地の有効活用を図ります。

【課題】比内ブランド農業を支える優良農地の確保が求められます。

#### 【方針】

- 農業振興地域制度の適正な運用に基づき、優良農地の確保を推進します。
- 基盤整備事業を計画的に進め、複合作物の作付が可能となる優良農地の確保を図ります。

### 2 もっと地域の力を活用する

【課題】人口減少等の影響で、祭りや地域行事に参加する若者が減少しています。古くから栄えた扇田地区の商店街の維持、さらなる活性化が求められます。

#### 【方針】

- 扇田地区の市街地の活性化について関係者と協議し、賑わいを創出するための方策づくりを推進します。
- 大館北秋商工会と連携し、商店街における出店支援、創業支援を進めます。
- 夏祭り・ひない商人祭り等のイベントの支援に取り組み、地域の活力向上を図ります。

【課題】 郊外部等の農林業を支える地域は、地域コミュニティの維持や生活機能の確保等が困難になることが懸念されます。

【方針】

○農林業振興や景観・環境保全等の関係施策と連携するとともに、小さな拠点の形成について検討を進めます。

【課題】 南東部の農村集落等、居住空間が山地に近接し、土砂災害危険区域が点在しています。

【方針】

○居住空間と土砂災害危険区域が近接している箇所については、秋田県が行う土砂災害対策に基づき、危険箇所の周知に努め、安全な地域づくりを推進します。

【課題】 ふるさとキャリア教育や市民ワークショップを通して、地域づくりについて考える気運が高まり、これらの取り組みを継続・活性化することが求められます。

【方針】

○ふるさとキャリア教育や地域応援プランによる地域づくりを継続し、住民とのつながりを広げながら、地域について考え、行動する機会づくりを推進します。  
○住民と行政が連携し、既存ストックの活用を進め、地域のことや大館の未来について気楽に語り、情報共有ができる場づくりを推進します。

### 3 もっと資源をつなげる

【課題】 古くから発展した地域であり、大日神社や扇田神明社、西木戸神社等、豊富に点在する歴史資源の有効活用が期待されます。

【方針】

○資源周辺の景観を守りながら、サイン整備等による資源のネットワーク化、QRコード付き標柱やリーフレットを活用したPR等を推進し、豊富な歴史資源の保全・活用を図ります。

【課題】 広大な田園や豊かな農村資源は、将来の就業の場や、都市と農村の交流により交流人口の拡大が見込まれる場として期待されます。

【方針】

○比内地鶏や大館とんぶり、しいたけ、葉たばこ等の比内ブランドを支える農地の保全を図るとともに、生産だけでなく加工や販売につなげ、就業の機会や交流人口の拡大を目指します。  
○比内地域における産業・農業の周知を推進し、広く全国へ比内ブランドを発信していきます。

【課題】 個性的な景観を形成する達子森や米代川等、人々に親しまれる自然環境は、ふるさとの原風景として後世に受け継ぐことが求められます。

【方針】

○達子森や米代川等の環境を後世に受け継ぐため、景観や自然環境の保全・活用に取り組みます。

【課題】 ペットと楽しめる観光地として、地域の魅力向上や交流人口の拡大が期待されます。

【方針】

○ペットと泊まれる宿泊施設として整備したベニヤマ自然パークコテージを拠点とし、首都圏等のペット愛好家をターゲットに集客を図ります。

#### 4 もっと機能をつなげる

【課題】 市民アンケートでは、現在は自家用車で移動する方の割合が高くなっていますが、高齢化に伴い運転が困難になる方が増加すると懸念されます。

【方針】

○公共交通に関する情報を提供するツールを作成しホームページで発信する等、利用者への周知を推進し、公共交通機関にアクセスしやすい環境づくりを行います。

○交通結節点における機能の向上を図り、公共交通による移動の利便性を高めます。

【課題】 市民ワークショップでは、郊外部におけるバスの運行本数が少ないことや、誰もが安心して利用できるバス停の整備に関する意見が挙げられています。

【方針】

○今後、行政だけでは公共交通の維持・運営が困難と予想されることから、地域と行政が連携し、多様な主体による交通サービスの導入について検討します。

○バス停周辺の整備、地域ボランティアと協力して待合所付近の除排雪体制を強化する等、待合環境の改善を図ります。

【課題】 扇田地区における都市計画道路の整備率の向上が求められます。

【方針】

○長期にわたって整備が進んでいない都市計画道路については、必要性や事業実現性を評価し、継続・変更・廃止について計画の見直しを進めます。

# 比内地域のまちづくり方針



## 1 土地利用がもっと充実する

市街地の利便性を活かし、用途地域内の空き地を有効に利用することで、良好な住環境の整備を促進し、商業地における賑わいの維持・活性化を図ります。

## 2 もっと地域の力を活用する

行事やイベントを通して地域内外の交流を深めながら、住民主体の魅力ある地域づくりを推進します。

## 3 もっと資源をつなげる

歴史資源や自然環境の保全・活用を進めながら、比内ブランドであるさまざまな産業を推進し、比内地域の魅力を広く発信していきます。

## 4 もっと機能をつなげる

主要な公共交通を確保することで、都市機能へのアクセスを維持するとともに、都市計画道路の見直し・評価を行います。

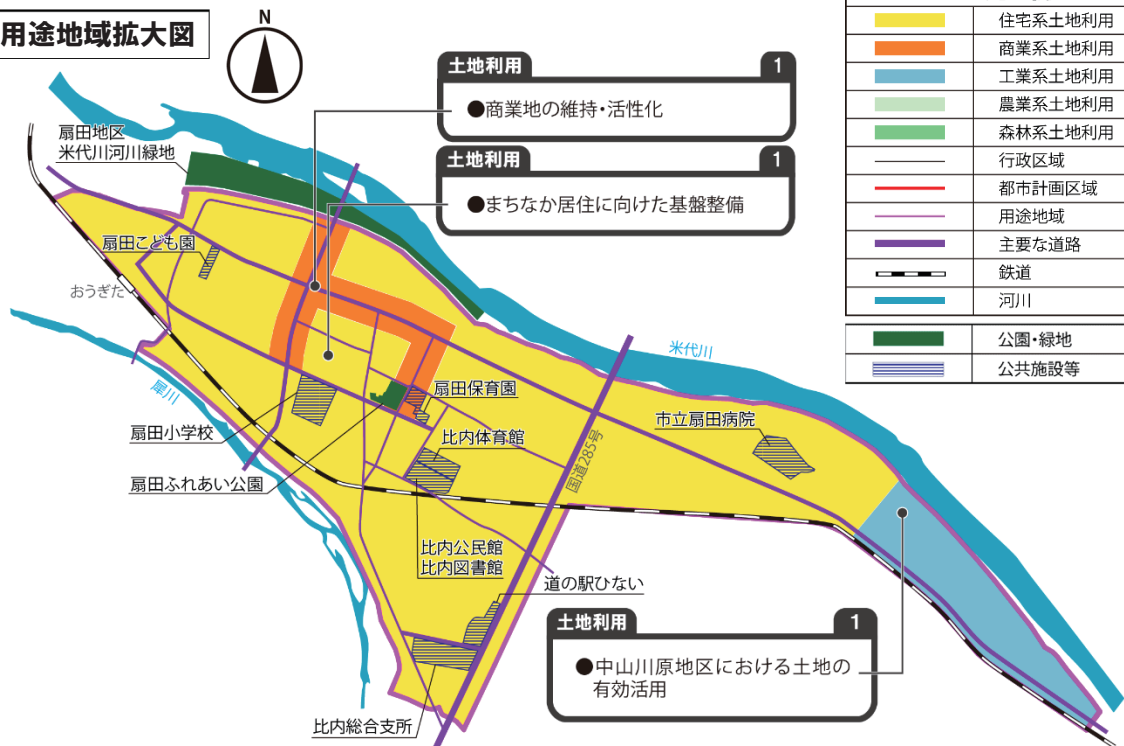
凡例	
	住宅系土地利用
	商業系土地利用
	工業系土地利用
	農業系土地利用
	森林系土地利用
	行政区域
	都市計画区域
	用途地域
	主要な道路
	鉄道
	河川

まちの拠点と連携軸	
	賑わい創出の拠点
	まちを支える工業拠点
	緑とふれあいの拠点
	観光・交流の拠点
	生活の支えとなる地域拠点
	地域連携軸

# 比内地域のまちづくり方針（拡大図）



## 用途地域拡大図



凡例	
	住宅系土地利用
	商業系土地利用
	工業系土地利用
	農業系土地利用
	森林系土地利用
	行政区域
	都市計画区域
	用途地域
	主要な道路
	鉄道
	河川
	公園・緑地
	公共施設等

## コラム ～未来の日常をイメージしよう～

扇田地区を中心に都市施設や商業地が集積し、住民によるお祭りや催しが盛んで、豊かな景観と資源に恵まれた比内地域では、10年後にどのような暮らしをしているのでしょうか？  
市民ワークショップで得られた意見を踏まえながら考えてみましょう。

- ・まずは住民自らが地域のいいところを知り、大切に思う気持ちを持とう！
- ・住民が自由に集まり、地域の将来について考え、語れる場所があるといいな
- ・比内地域だけではなく、周辺地域とも協力して魅力を高めていきたい

「他地域との交流をしながら、知れる！大館の未来を語れる！場所づくり」が実現できた未来における日常を、具体的にイメージします。

### ○みんなで語ることの楽しさを共有！

- ・ふるさとキャリア教育で地域づくりを学ぶ子どもたちとともに、大人もまちの未来について自由に語り合うことの楽しさを知っている。
- ・学校や各施設、インターネット等を通じた広い情報提供のおかげで、未来を語る場のことを誰もが知り、活用している。語る場では多くの情報が行き来し、扇田小学校の音楽堂で行われるミニコンサート等、イベントの開催をいち早く知ることができる。
- ・各地区のバスの待合所には語る場の情報や取り組みを掲示するスペースがあり、扇田地区だけではなく、地域全体に語る場を普及させている。

### ○既存ストックを活用し、自由に集まる場所を確保！

- ・行政と連携して、旧役場等の使われていない施設を借りる仕組みができており、気軽に集まる場が常にある。「こんな場所があるよ」等のアイデアも募集されている。
- ・施設を借りた際の清掃等、管理について、できることから住民主体で行っている。

### ○色々な地域と広く協力！

- ・十二所や大滝、上川沿地区等、地区を超えた取り組みが増えてきている。
- ・ベニヤマ自然パークは、ペットとのびのび過ごせる場としてペット愛好家たちの間で口コミが広がり、釈迦内地区の犬都記念公園ドッグランと連携した情報提供も行われている。

### ○地域の宝物がさらに輝く！

- ・とんぶり農家等、多くの農家や企業が子どもハローワークに参加し、大館で働くかっこいい大人の背中を子どもたちに見せている。そのおかげで、進学で市を離れる子どもたちも、市に戻ってきて働くイメージがしやすく、農家の後継者も増えている。
- ・全国各地で開催される大館アンテナショップでは、比内ブランドの特産品がますます人気で、比内地域の知名度がアップしている。
- ・たくさんの若者が地域の催しやお祭りに参加し、青若会の取り組みもさらに充実しており、他地域や市外から訪れる人からも元気な地域だと評判になっている。
- ・語る場では、地域の新たな宝物探しや、今ある資源の使い方に関するアイデアが常に出されている。「おもしろそう」、「それならできそうだ！」というアイデアについて、実現に向けて一歩一歩取り組む姿勢は、地域全体で広く共有されている。

## 5-6 田代地域

### (1) 地域の現況

地域の概要	
面積	306.70km <sup>2</sup> 市全体の34%
人口	6,265人、市全体の8% 2015(平成27)年 国勢調査
世帯数	2,195世帯、市全体の8% 2015(平成27)年 国勢調査
15年間の人口増減	1,635人の減少(21%減) 2000(平成12)年7,900人から 2015(平成27)年6,265人へ ※国勢調査



地域を代表する主な施設等	
施設等	田代総合支所、田代公民館、田代図書館、田代体育館(グリアス田代)、田代総合福祉センター、地域包括支援センター長慶荘、矢石館遺跡、たしる温泉ユップラ、小畑勇二郎記念館、ロケットエンジン燃焼試験場
駅	早口駅(JR奥羽本線)
医療施設	—
学校	早口小学校、山瀬小学校、田代中学校
工業団地	羽貫谷地工業団地、岩瀬工業団地
公園緑地	田代岳県立自然公園、五色湖緑地公園、外川原地区米代川河川緑地、田代スポーツ公園
景観	田代岳、十ノ瀬山、岩瀬川溪流、五色湖(山瀬ダム)、早口ダム

田代地域は、市北西部に位置し、西側が北秋田市・藤里町、北側が青森県に隣接する地域です。面積は306.70km<sup>2</sup>で、市全体の34%を占めています。

一級河川米代川が地域の南側を横断し、その支流である岩瀬川と早口川の二つの流域から形成されています。山地が北部・中央部の大部分を占めており、川沿いに広がる平地が住宅地や農用地として利用されています。岩瀬川上流にはロケットエンジン燃焼試験場があり、宇宙航空産業の発展に寄与しています。

早口駅から国道7号を挟んだ北部には、高齢者福祉施設や体育施設、診療所等の健康・福祉・医療サービスが集積しています。田代岳に代表される豊かな自然景観は地域に広く親しまれており、地域内外の人々との交流を促進する観光資源となっています。

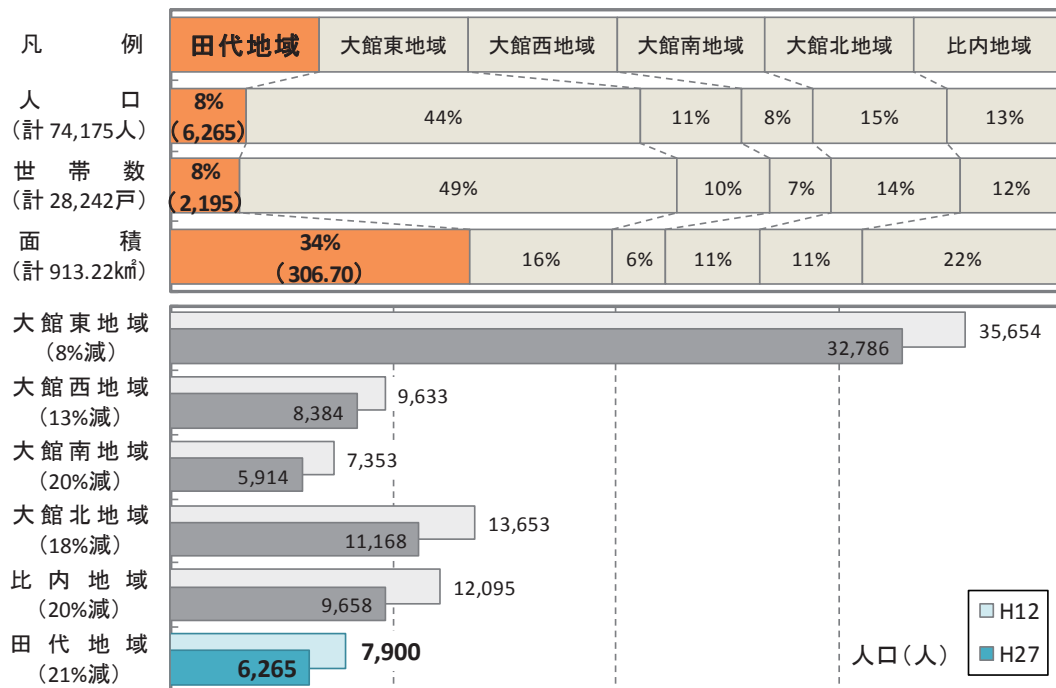


## 【土地利用】

- 早口駅周辺は舟運の船着場としてはじまった集落であり、まとまった住宅地を形成しています。
- 南部の米代川や、岩瀬川・早口川沿いの平地には、農用地と農村集落が混在しています。
- 農用地は水稻を中心に、野菜等が生産されており、繁殖牛やさくら豚を中心とした畜産も行われています。
- 岩瀬地区には、羽貫谷地工業団地、岩瀬工業団地が形成されており、地域の雇用の場となっています。
- 山地部の森林は、地域の約9割を占め、古くから森林資源に恵まれている地域です。山瀬ダム周辺の山地部は、市営牧場があり、放牧場として利用されています。

## 【人口・世帯】

- 人口 6,265 人で本市の 8%、世帯数 2,195 世帯で本市の 8% を占めています。1 世帯当たりの人員は 2.9 人となっています。
- 2000（平成 12）年からの人口減少率は約 21% であり、約 1,600 人減少しています。



資料：人口・世帯…2000（平成 12）年、2015（平成 27）年 国勢調査  
面積…2014（平成 26）年 10 月 1 日 GIS・国土の情報（全国都道府市区町村の面積）  
※端数の処理により、見かけ上の合計が 100% とならない場合があります。

## 【文化・風景・特産物】

- 縄文時代晩期前半の石棺が出土した矢石館遺跡が県史跡に指定されているほか、「代野番楽」、「蛭沢獅子踊り」、「山田獅子踊り」が市指定文化財となっています。
- 本地域の出身で、秋田県の発展に尽力した元県知事、小畑勇二郎記念館があります。
- 田代岳の火山景観、田代岳湿原の池塘（ちとう）景観、北部の滝や溪谷、早口や深岱等の河岸段丘等の河川景観等、優れた自然景観に恵まれています。

- 田代岳をはじめ、十ノ瀬山や米代川等は身近な風景として親しまれています。
- たけのこや鮎、大館ブランドとして確立されたさくら豚、廃校を利活用した生ハム製造等、豊かな自然と気候を活かした特産品がつくられています。

### 【観光レクリエーション】

- 田代岳県立自然公園を中心に、山瀬ダム周辺の五色湖ロッジや五色湖緑地公園キャンプ場等の自然を活かした観光資源があります。
- たけのこ祭り、大鮎の里ふるさとまつり、五色湖祭り等の観光イベントが開催されています。
- たしろ温泉ユップラは温泉入浴・保養・宿泊施設として利用され、周辺の体育館や野球場、オートピクニック広場等の施設とともに、地域住民をはじめとする市民によるレクリエーション活動の場として利用されています。
- ペットと泊まれる宿泊施設として、五色湖ロッジが整備されています。
- 米代川の河川敷には外川原地区米代川河川緑地が整備されており、イベント等に活用されています。

### 【主要公共施設】

- 早口駅周辺に公共公益施設が集積しています。
- 早口駅の北部には、たしろ温泉ユップラをはじめ、高齢者福祉施設や体育施設（グリアス田代）等の健康・福祉サービスが集積しています。
- 岩瀬川と早口川の上流に山瀬ダム、早口ダムがあり、治水と安定的な水供給の役割を担っています。

### 【交通基盤】

- JR奥羽本線が国道7号と並走しており、早口駅が立地しています。
- 地域の南部を国道7号が横断し、主要幹線道路となっています。
- （主）白沢田代線が、国道7号から岩瀬川沿いを北上し東部の大館北地域に連結しています。

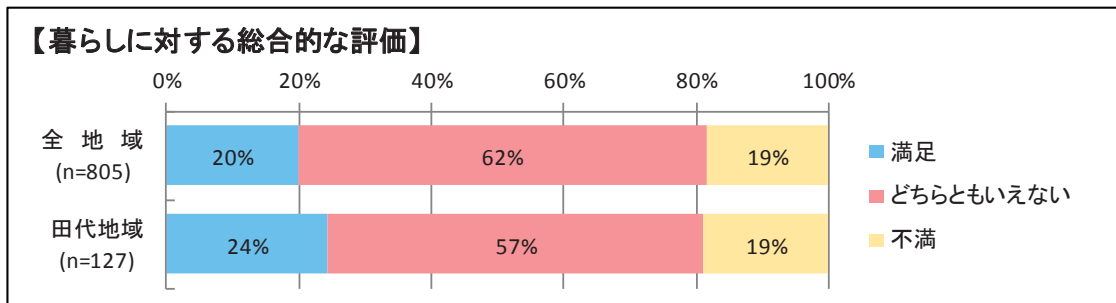
### 【まちづくり活動】

- 早口・山瀬小学校、田代中学校では、ふるさとキャリア教育の一環として、ふるさと元気復興支援農園活動、作物作りと販売、地域ボランティア等の活動を行っています。
- 地域の有志が中心となり設立された「元気なたしろ盛上げ隊」は、地元野菜や工芸品の販売等を行う「たしろきのご祭」開催の中核を担う等、地域住民、商工業者、商工会等と協働し、地域活性化に繋げる活動を行っています。
- 地域の高齢者が生きがいを持って自立できる生活基盤の確立を目指し設立された「山田地域づくり協議会」は、通販サイト「達人市場」の開設や、マイタケオーナー制度の実施等、地域の資源を活用した事業を行っています。
- 市民ワークショップでは、雄大な自然景観を活かし、地域を巡る観光コースを確立させたいといった意見が出されています。

### 【市民アンケート】

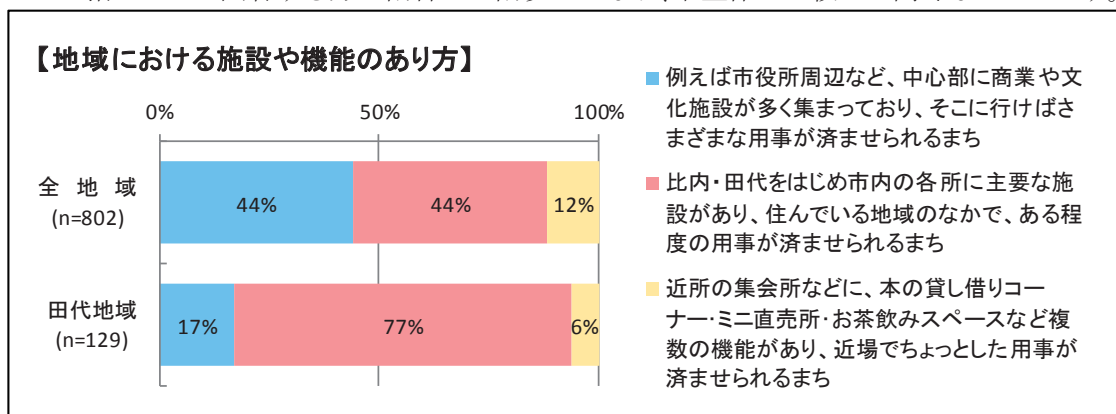
○市民アンケートのうち、全体の約 16%が田代地域に居住している方の回答となっています。市全体の結果と比較し、田代地域の回答の一部をとりまとめます。

○田代地域では、本市における総合的な暮らしやすさについて「満足」と回答する割合がやや高くなっています。「不満」と回答した割合は約 2 割で、市全体と類似した傾向となっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が 100%とならない場合があります。

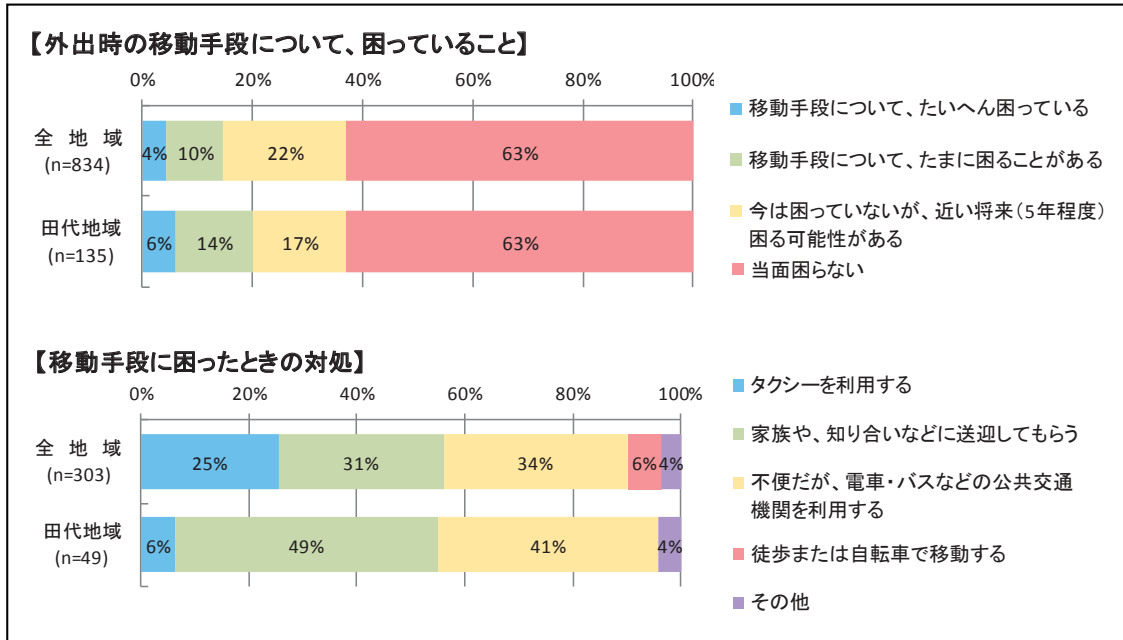
○地域における施設や機能のあり方について、「比内・田代をはじめ市内の各所に主要な施設があり、住んでいる地域のなかで、ある程度の用事が済ませられるまち」を指したいと回答する方の割合が 7 割以上となり、市全体と比較して高くなっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が 100%とならない場合があります。

○外出時の移動手段に困ることについて、全体と比較して「たまに困ることがある」と回答した方の割合がやや高くなっています。

○移動手段に困ったときは「家族や知り合いの送迎」が約5割、「公共交通機関を利用する」という回答が約4割となっています。「タクシーを利用する」は6%と低く、「徒歩または自転車で移動する」は0%となっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。



写真 大鮎の里ふるさとまつり（田っ中ソーラン）

## (2) まちづくりの課題と方針

たけのこや山菜等、自然に育まれた特産品が生産され、地域のシンボルである田代岳を代表とする豊かな緑に囲まれた地域です。人口減少、高齢化が進行する中、日常の移動を含めた暮らしやすさの維持が課題となっています。

市民ワークショップにおいては、住む人・訪れる人が感じる景観の素晴らしさや、安心して暮らし続けるためのアイデア等が活発に出されました。

さまざまな世代の市民がいつまでも快適に生活できるよう、自然の恵みを産業に活かしながら、地元で働ける環境づくりが必要とされています。また、地域の特色を活かしたイベント等により、市内外の人々との交流を促進し、山川の自然豊かな癒やしの地としての発展が求められています。

これらを踏まえ、将来像を「自然の恵みとともに、多世代が輝く住みよい地域づくり」と掲げ、全体構想で定めた5つの柱のうち、地域に関連する4つの柱についてまちづくりに関する課題と方針をとりまとめます。

### <田代地域が目指す姿の概要>

現況・課題			
【土地利用】	【地域の力】	【資源】	【機能】
<ul style="list-style-type: none"> <li>自然を活かした居住空間の維持・発展が求められる。</li> <li>農地の維持・保全が求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>郊外部の集落における日常生活サービスの確保等が懸念。</li> <li>住まいが土砂災害危険区域に近接。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツレクリエーション拠点や、自然資源の活用が期待される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動手段の確保が求められる。</li> <li>生活環境の向上が求められる。</li> </ul>

田代地域  
将来像

自然の恵みとともに、  
多世代が輝く住みよい地域づくり

### まちづくりの方針

1	土地利用がもっと充実する	ゆとりある居住地域として、周辺の自然環境と調和を図りながら、計画的な土地利用を推進します。
2	もっと地域の力を活用する	コミュニティを活発化し、郊外部を含む地域全体において、安心して暮らし続けるための地域づくりを推進します。
3	もっと資源をつなげる	美しい自然景観を保全・活用しながら、田代地域を訪れてもらうための取り組みを推進し、交流人口の拡大を図ります。
4	もっと機能をつなげる	高齢者等が移動に困らないための取り組みを推進し、居住環境の維持・向上を図ります。

## ＜4つの柱に基づくまちづくりの課題と方針＞

### 1 土地利用がもっと充実する

【課題】早口駅周辺は、大館の中心部と北秋田市の中間点に位置し、外川原地区米代川河川緑地も隣接していることから、利便性が高く、うるおいある居住地域の形成が求められます。

#### 【方針】

- 早口駅北側地区を低密度住宅地として位置づけ、周辺の自然環境との調和に配慮したゆとりある居住地域の形成を図ります。
- 本市と北秋田市の居住エリアとして、ゆとりある住宅整備の促進や生活道路・公園等の都市基盤整備等、住宅及び住環境の計画的な整備推進を図ります。

【課題】地域の農村景観を形成する農地の維持・保全が求められます。

#### 【方針】

- 早口川沿いは顕著な河岸段丘で、特色ある農村景観となっていることから、農業施策と連携しながら、これら農地の維持・保全を図ります。

### 2 もっと地域の力を活用する

【課題】少子高齢化が進行する中、地域における人と人のつながりを保ち続けることが求められます。

#### 【方針】

- 地域応援プランの活用等により、地域コミュニティの育成、活動の活発化を図ります。

【課題】市民アンケートでは、地域における施設や機能のあり方について「地域のなかである程度の用事が済ませられるまち」が求められています。また、郊外部等の農林業を支える地域は、地域コミュニティの維持や生活機能の確保等が困難になることが懸念されます。

#### 【方針】

- 小学校区等、複数の集落が集まる基礎的な生活圏の中で、交流の中心となる小さな拠点の形成について検討を進めます。
- 郊外部等の地域については、農林業振興や景観・環境保全等の関係施策と連携するとともに、小さな拠点との連携を図ります。

【課題】早口駅周辺や農村集落等、居住空間と土砂災害危険区域が近接しています。

#### 【方針】

- 居住空間と土砂災害危険区域が近接している箇所については、秋田県が行う土砂災害対策に基づき、危険箇所の周知に努め、安全な地域づくりを推進します。

【課題】ふるさとキャリア教育や市民ワークショップを通して、地域づくりについて考える気運が高まり、これらの取り組みを継続・活性化することが求められます。

▶ 【方針】

- 早口小学校の「ふるさと元気プロジェクト」、山瀬小学校の「やませっ子経営塾」等、ふるさとキャリア教育や地域応援プランの取り組みを地域に広げ、子どもと大人が影響し合いながらともに成長できる機会を創出します。
- 子どもの遊び場や、高齢者が楽しく暮らせる安心のまちを目指しながら、市外や他の地域から田代地域を「訪れたい」と思われるような魅力ある地域づくりを推進します。

### 3 もっと資源をつなげる

【課題】スポーツ公園、田代体育館（グリアス田代）、ユップラ等が集積するエリアをスポーツレクリエーション拠点として有効に活用することが期待されます。

▶ 【方針】

- スポーツレクリエーション拠点について、環境整備等の推進やPRの促進により、田代地域だけではなく市全体における活用を図ります。
- 市民のニーズやスポーツレクリエーション活動の動向を踏まえた拠点の整備を促進します。

【課題】豊富な自然資源を観光に活かし、地域の魅力向上や交流人口の拡大が期待されます。

▶ 【方針】

- 特産品であるたけのこや自然を満喫できる魅力を活かすとともに、修学旅行生の受入れを主とするグリーンツーリズムに取り組み、まるごと体験推進協議会の活動に協力しながら、引き続き交流人口の拡大に努めます。
- 従来の薬師山や高陣場に加えて、藤の郷のような新たな観光資源の発掘と磨き上げを行い、身近なレクリエーションの場の提供を図るとともに、田代岳については案内人の育成を図ります。
- 地域住民と協力しながら、資源マップの作成やツアー企画による観光ルートの形成について検討します。
- 山瀬ダム周辺における散策道の維持管理を図りながら、ペットと泊まれる宿泊施設として整備した五色湖ロッジを拠点とし、首都圏等のペット愛好家をターゲットに集客を図ります。

【課題】山地景観、溪流や滝等の河川景観、湿原等の池塘（ちとう）景観等、充実した自然環境を後世へ残していくことが求められます。

▶ 【方針】

- 地域のシンボルである田代岳をはじめとして、豊かな自然環境の維持・保全を図ります。
- 身近な自然に親しめる場として、カヌー体験会の開催等、外川原地区米代川河川緑地のさらなる活用について検討します。

## 4 もっと機能をつなげる

【課題】 田代地域は、北秋田市と本市の中心市街地をつなぐ位置にあり、住みよい居住環境を維持・向上することが求められます。

### 【方針】

- 早口駅周辺等、住宅が集積する地域においては、狭あい道路の解消や生活道路の整備推進を図ります。
- 集落地域等では、田園や山々等の良好な自然に囲まれた住みよい地域づくりを進めるため、安全性、利便性、快適性、文化性等を考慮し、生活環境の維持・向上を進めます。

【課題】 市民アンケートでは、「移動手段に困ったときに家族や知り合いによる送迎を利用する」割合が高く、ご近所付き合いや家族同士の助け合いといったコミュニティ意識が高い地域である一方で、外出時の移動手段について「大変困っている」・「たまに困ることがある」と回答した方の割合が市全体と比較して高くなっています。

### 【方針】

- 公共交通に関する情報を提供するツールを作成しホームページで発信する等、利用者への周知を推進し、公共交通機関にアクセスしやすい環境づくりを行います。
- 早口駅等、交通結節点における機能の向上を図り、公共交通による移動の利便性を高めます。
- 地域住民やNPO、社会福祉協議会が主体となった送迎ボランティア等、地域助け合い型の移動サービスの導入に向けて取り組みます。

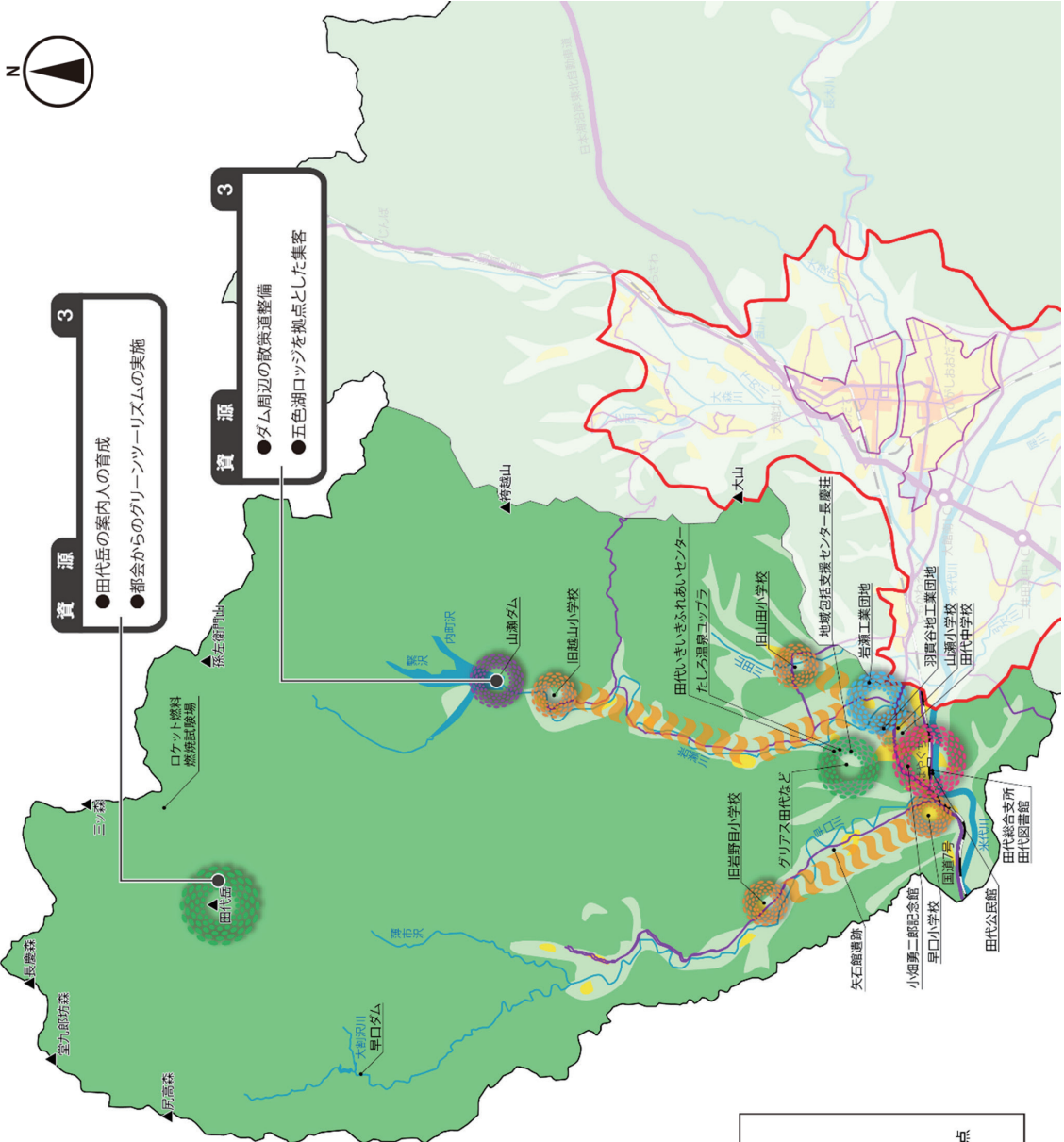
【課題】 市民ワークショップでは、バスの待ち時間を楽しく過ごすための場づくりや、運転免許返納後の支援に関する意見が挙げられています。

### 【方針】

- バス停における待合スペースの確保や充実等、快適に利用できる待合環境の改善を図ります。
- 運転免許を自主返納した高齢者を対象に、協賛店での割引やタクシー利用料金の割引等の優遇措置を継続するとともに、取り組みの周知、拡大に努めます。



# 田代地域のまちづくり方針



- 1 土地利用がもっと充実する**  
 ゆとりある居住地域として、周辺の自然環境と調和を図りながら、計画的な土地利用を推進します。
- 2 もっと地域の力を活用する**  
 コミュニティを活性化し、郊外部を含む地域全体において、安心して暮らし続けるための地域づくりを推進します。
- 3 もっと資源をつなげる**  
 美しい自然景観を保全・活用しながら、田代地域を訪れてもらうための取り組みを推進し、交流人口の拡大を図ります。
- 4 もっと機能をつなげる**  
 高齢者等が移動に困らないための取り組みを推進し、居住環境の維持・向上を図ります。

- 資源**
- 田代岳の案内人の育成
  - 都会からのグリーンツーリズムの実施
- 資源**
- ダム周辺の散策道整備
  - 五色湖ロッジを拠点とした集客

**凡例**

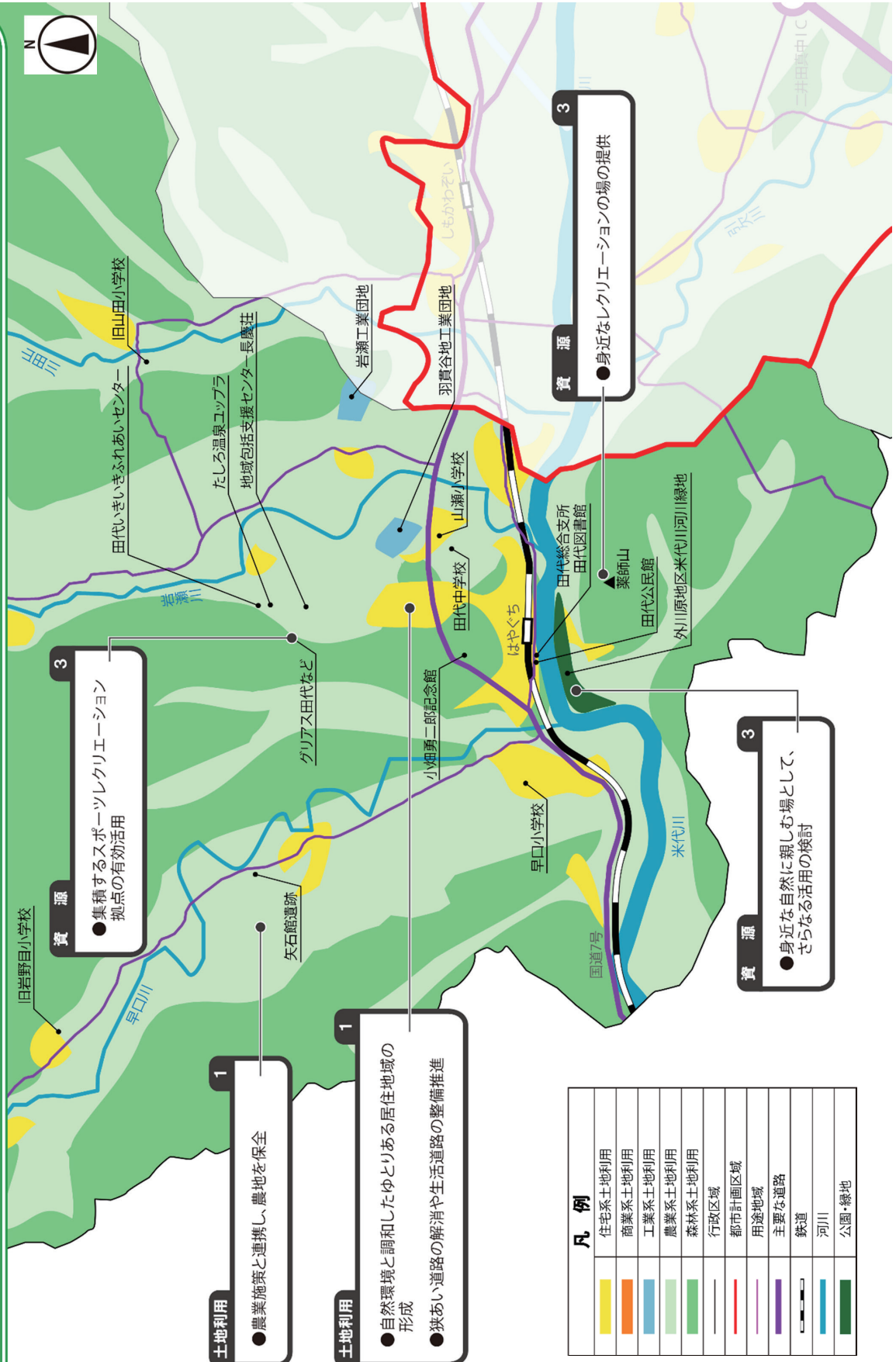
住宅系土地利用
商業系土地利用
工業系土地利用
農業系土地利用
森林系土地利用
行政区域
都市計画区域
用途地域
主要な道路
鉄道
河川

**まちの拠点と連携軸**

- 賑わい創出の拠点
- まちを支える工業拠点
- 緑とふれあいの拠点
- 観光・交流の拠点
- 生活の支えとなる地域拠点
- 〰 地域連携軸

# 田代地域のまちづくり方針（拡大図）



## コラム ～未来の日常をイメージしよう～

田代岳に代表される豊かな自然に囲まれ、気候を活かした特産品づくりが盛んな田代地域では、10年後にどのような暮らしをしているのでしょうか？

市民ワークショップで得られた意見を踏まえながら考えてみましょう。

- ・子どもも高齢者も、楽しくふれあえるような地域にしていけたらいいな
- ・田代岳等の貴重な資源を全国の人々に知ってもらい、訪れてもらいたい
- ・地域のみならず、一つ一つできることから取り組んでいきたい

「田代岳・早口・山瀬両ダムと早口駅中心部を巡る観光コースづくり」が実現できた未来における日常を、具体的にイメージします。

### ○自然を活かした魅力をPR！

- ・田代岳や早口・山瀬ダム、五色湖等と、早口駅周辺を巡る観光コースは、美しい景色がSNSで人気となり、市内外から観光客がやって来る場所となっている。
- ・十ノ瀬藤の郷のように、地域に眠っていた資源が再注目されて人気を集めている。インターネットを用いたPRも大成功で、訪れる人が増えている。

### ○多世代がともに輝ける地域へ！

- ・田代体育館（グリアス田代）やたしる温泉ユウプラでは、若者と高齢者が交流できるようなイベントが開催され、交流の場として賑わっている。
- ・学校と地域が連携する機会が増えたことで、広い年代の住民同士が意見を出し合い、地域づくりを進めていこうという思いが高まっている。

### ○暮らし続けるための仕組みが確立！

- ・車の運転が難しくなっても、バス等を利用して病院へ通うことができ、地元の野菜等を購入する場所が確保されている。
- ・発展した技術を活用し、自動運転によってバス停まで行き、まちなかや色々なところへ移動できる暮らしができています。

### ○住民主体の地域づくり！

- ・ふるさと田代活性化プロジェクト等を通じて、地域のことを知る機会がますます増え、住民みんなが「自分にできること」を意識しながら暮らしている。
- ・ふるさとキャリア教育と地域応援プランとの結びつきがさらに強くなり、子どもも大人も、地域について考え、行動する機会が多くなっている。

### ○地域の宝物がさらに輝く！

- ・マイタケオーナー制度や旧山田小学校の生ハム等、特産品の知名度はますます高まり、田代名産たけのこ祭りやきのこ祭りは毎年大きな盛り上がりを見せている。
- ・地元の鮎を使った大鮎の里ふるさとまつりには地域内外から参加者が集まり、田代地域の魅力を多くの人に感じてもらう場となっている。
- ・五色湖ロッジは、雄大な自然の中でペットと楽しく過ごせる場として人気が高まり、宿泊に訪れる人が増加している。

